# 2024 年度事業報告

社会福祉法人慈愛園

# 法人の基本理念

イエス・キリストによって示された隣人への愛と奉仕の精神に基づき、利用者の個人としての人格を尊重し、心身ともに健やかに育成されるよう多様な福祉サービスを提供します。

また、地域社会において利用者の有する能力に応じた自立した生活を営めるよう支援します。

## 基本聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい

-ローマの信徒への手紙 12章15節-

#### Ⅰ 2024 年度の取組の総括

2024 年度は、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神、慈愛園創立者モード・パウラスの「散らされた人々を集め、ひとりも失われないようにする」という創立の理念を掲げ、職員一丸となって様々な課題に取り組んだ。

事業の運営に関しては、児童養護分野におけるケア形態の地域化、小規模化の流れに沿って子供ホーム、シオン園において小規模ホームを増設した(2025年度開設)。また、少子化が進む中で園児確保に苦慮しているシオン園保育所、ひかり幼児園については、行政当局と交渉を重ね、2025年度からの定員削減が認められたところであり、今後の収益改善につながるものと期待している。

組織の運営に関しては、人事制度見直しの一環として、法人本部で一括採用する職種の範囲を順次拡大するとともに、これまで殆ど行ってこなかった施設間の人事異動を毎年4月に定期的に行うべく体制を整備した。

また、よりよい職場づくりの取組として、職場のリーダー層を対象にした極めて実践色の強い研修を実施するなど、現場主導による職場風土改善を進めた。

さらには、職員が安心して働けるよう、定年を 65 歳に延長したほか、保育所の勤務形態を見直して他の施設の職員同様、週休 2 日制 (年間の平均) を実現した。

給与制度については、まずは、期末手当・勤勉手当について組織や職員の ニーズも踏まえて、支給月数をより柔軟に設定できるよう見直し検討を行った。

経営面に関しては、各種単価の改定、各施設の経営努力等により法人全体 としては好調な決算となった。一方で、個別に見ると厳しい経営状況にある 施設もある。

地域貢献に関しては、地域の各種団体の情報交換の場である「ほっとネット砂取」の運営に参画するとともに、地域の高齢者を対象にした「シルバーおせち宅配便」等の取組を継続して実施した。

2025 年度においても、引き続きこうした取組に力を入れるとともに、業務のICT化、求人や利用者確保のための積極的な情報発信等にも積極的に取り組んでいきたい。

#### Ⅱ 主な取組の実施状況と評価

#### 1 事業の運営について

- (1)児童養護施設におけるケア形態の地域化、小規模化という国の方針に沿って、子供ホーム、シオン園において小規模ホームを増設する準備を進めた (2025 年 4 月から開設)。
- (2)シオン園保育所の立地条件を活かして学童保育を新設した(2024年4月開設)。
- (3)少子化社会において今後も事業を継続していくために、市当局と交渉を重ね、シオン園保育所及びひかり幼児園の園児定員を削減することができた(2025年4月より)。

目標	実 績	評 価
①小規模ホーム2ホーム増設	①子供ホームで地域小規模ホーム 1	
	ホーム、シオン園で分園型ホーム	
	1 ホームを新たに設置した(2025	
	年4月開設)。	4
②学童保育の設置	②シオン園保育所に学童保育(定員	1
	35 人)を設置(2024 年 4 月開設)	
③保育所の定員削減(シオン園	③シオン園保育所は 150 人から 140	
保育所は 150 人を 130 人へ、	人、ひかり幼児園は 110 人から	
ひかり幼児園は110人を90人	100 人に削減 (2025 年 4 月から)。	
へ削減)		

(評価については次のとおり)

1 達成できなかった(数値目標の場合は目標達成率 概ね0~49%を目安)

2	あまり達成できなかっ	た(	同	50~69%を目安)
3	ある程度達成できた	(	同	70~89%を目安)
4	概ね達成できた	(	同	90~99%を目安)
5	達成できた	(	司	100%以上を目安)
				(以下同)

#### 2 組織の運営について

(1)人事制度の法人一本化を念頭に一連の職員採用事務を法人で一括して実施 した(一括採用は保育士及び児童指導員を対象とし、2025 年 4 月から 5 名の採用決定)。

また、これまでは例外的にしか実施してこなかった施設間の職員の異動について、毎年4月に定期人事異動を行うべく制度を整備した(2025年4月1日に数名が人事異動)。

法人統一の人事考課制度の導入に向けた検討はできなかった。

(2)よりよい職場づくりの一環として、ミドル・リーダーを対象にして、座学 →職場で実践→座学(振り返り、共有、改善等)→職場での実践、を繰り 返す"サンドイッチ方式"による「職場づくり実践セミナー」を企画・実施 した。現場主導の職場風土改善の端緒となることを期待しており、今後も 継続して実施したい。

なお、全職員を対象にしたアンケート調査によれば、各職場の雰囲気等 も改善傾向にあるものと思われる。

- (3)また、現行の60歳定年、65歳まで再雇用を2025年度から65歳定年、70歳まで再雇用とすることとし、安心して働ける環境を整備した。
- (4)シオン園保育所、愛光幼児園、ひかり幼児園については、勤務形態を見直すことにより、2025年度から実質的な週休日を増やして他の施設並みとし、職員からは好評を得ている。
- (5)給与制度については、社会経済情勢の変化対応や職員のモチベーション向上等の観点から期末手当・勤勉手当のあり方を検討した(2025年5月の理事会に規程改正案を提案)。それ以外(各種手当等)の見直し検討はあまり進まなかった。

目標	実 績	評価
①法人一本の人事制度(採用、育	①職員の法人一括採用及び施設間の	
成、評価等) の導入準備が整っ	定期人事異動を段階的に実施。ミ	
た状態にする。	ドル・リーダー対象の横断的研修	
	を実施。法人全体の人事考課制度	4
	の突っ込んだ検討はできなかっ	
	た。	
②職員主導による組織風土改善	②職場づくりセミナーを受講した職	
の取組が行われる状態にす	員が職場づくりを実践した。「職場	
る。	の雰囲気がよくなった」とする職	
	員の割合が増加した(ハラスメン	
	ト等アンケート調査)	
③70歳定年延長への対応方針が	③2025 年度から 65 歳定年、70 歳ま	
固まった状態にする。	で再雇用となった。	
④保育所職員が週休 2 日(1 年	④2025 年度から他の施設同様、週休	
間の平均) 休める状態にする。	2 日制(1 年間の平均)となった。	
⑤給与制度について可能なもの	⑤期末手当・勤勉手当について見直	
から見直しや検討が進んだ状	し案を 2025 年 5 月理事会に提案	
態にする。	予定。それ以外の検討はあまり進	
	まなかった。	

#### 3 経営の改善について

- (1) 法人全体の収支については、サービス活動増減差額(\*)が 154,106 千円と、ここ 10 年でもっとも大きな額となった。ただし、措置費や保育の単価等の上昇による収入増に支えられている面もある。また、個別には厳しい経営状況にある施設もあり、けして安心できる状況にはない。
  - (\*)サービス活動増減差額:事業活動計算書のサービス活動収益計から サービス活動費用計を引いたもので、民間企業でいえば本業の儲け を表す指標の一つ。
- (2) 諸物価が高騰する1年であったが、各施設において経費節減に努め、一定の成果をあげることができた。
- (3)シオン園保育所、ひかり幼児園の経営改善は一定程度進んだ。両園とも 2025年度から定員を削減することから、これに伴う保育単価の上昇によりさらなる経営改善が期待される。

目標	実 績	評 価
①法人全体の事務費率を前年比	①事務費率(*)は 6.8% (2023) か	
で低下させる。	ら 6.1%に低下	
	*事業活動計算書の事務費÷サ	
	ービス活動収益計	3
②施設間の財源調整の仕組みの	②具体的な検討は進まなかった。	
検討が進んだ状態にする。	③サービス活動増減差額はシオン園	
③経営改善中の2保育所の収支	保育所は 13,348 千円 (2023)から	
が着実に改善された状態にす	20,904 千円へ、ひかり幼児園は	
る。	282 千円(2023)から 13,161 千円	
	^	

#### 4 地域貢献について

- (1) 地域の各種団体の情報交換の場である「ほっとネット砂取」の運営に参画するとともに、地域の高齢者を対象にした「シルバーおせち宅配便」や「慈愛園サロン」等の取組を継続して実施した。
- (2) 砂取校区の現下の課題である"フリースクール問題"に対する地域住民の動きに対して、適宜、助言や支援を行った。

目標	実 績	評 価
①地域貢献の取組が積極的に行	①各種地域行事への参加、会議等で	
われている状態にする。	情報発信を行うことができたが地	
②地域の問題事案や課題につい	域のニーズ把握や整理は不十分。	3
て地域住民と共に考え、支援	②地域住民の話し合いに適宜参加し	
を行う。	助言を行った。	

# III 評議員会、理事会、常議会の開催状況について

5月21日	第1回常議会	・2023 年度事業報告及び決算の承認 ・規則・規程の一部改正 ・建物等に対する包括保険契約の更新 ・空調設備工事(子供ホーム) ・車両の購入(パウラスホーム) ・任期満了に伴う懲戒委員会委員の選任 ・定時評議員会の招集
5月28日	第1回理事会	・2023 年度事業報告及び決算の承認 ・規則・規程の一部改正 ・建物等に対する包括保険契約の更新 ・空調設備工事(子供ホーム) ・車両の購入(パウラスホーム) ・任期満了に伴う懲戒委員会委員の選任 ・定時評議員会の招集
6月14日	第1回評議員会	・2023 年度決算の承認
9月13日	第2回常議会	・規則・規程の一部改正 ・慈愛園職員の定年の延長及び新たな再雇用制度の導入 ・児童養護施設小規模化・地域分散化(子供ホーム、シオン園) ・園児定員変更(ひかり幼児園) ・エレベーターの基盤交換(パウラスホーム) ・給食業務委託(パウラスホーム) ・ 照明のLED化工事(パウラスホーム、愛光幼児園) ・第一次補正予算(案) ・第2回評議員会の開催
9月24日	第2回理事会	<ul> <li>・規則・規程の一部改正</li> <li>・慈愛園職員の定年の延長及び新たな再雇用制度の導入</li> <li>・児童養護施設小規模化・地域分散化(子供ホーム、シオン園)</li> <li>・園児定員変更(ひかり幼児園)</li> <li>・エレベーターの基盤交換(パウラスホーム)</li> <li>・給食業務委託(パウラスホーム)</li> </ul>

10月29日	第 2 回評議員会	<ul> <li>・照明のLED化工事(パウラスホーム、愛光幼児園)</li> <li>・第一次補正予算(案)</li> <li>・第2回評議員会の開催</li> <li>・慈愛園の経営状況の報告</li> </ul>
		・2024 年度における取組状況についての報告
11月21日	第3回常議会	・規則・規程の一部改正 ・電気受給契約の更新 ・大型遊具の購入(子供ホーム) ・給食業務の委託(パウラスホーム) ・プライバシー確保対策工事(パウラスホーム) ・園児定員変更(ひかり幼児園) ・第二次補正予算(案)
12月5日	第3回理事会	・規則・規程の一部改正 ・電気受給契約の更新 ・大型遊具の購入(子供ホーム) ・給食業務の委託(パウラスホーム) ・プライバシー確保対策工事(パウラスホーム) ・園児定員変更(ひかり幼児園) ・第二次補正予算(案)
3月11日	第4回常議会	<ul> <li>・定款の一部変更</li> <li>・規則・規程の一部改正</li> <li>・役員等賠償責任保険契約の更新</li> <li>・評議員、施設長、苦情解決第三者委員の人事について</li> <li>・最終補正予算(案)</li> <li>・2025 年度事業計画(案)</li> <li>・2025 年度当初予算(案)</li> </ul>
3月25日	第4回理事会	<ul> <li>・定款の一部変更</li> <li>・規則・規程の一部改正</li> <li>・役員等賠償責任保険契約の更新</li> <li>・評議員、施設長、苦情解決第三者委員の人事について</li> <li>・最終補正予算(案)</li> <li>・2025 年度事業計画(案)</li> <li>・2025 年度当初予算(案)</li> </ul>

# Ⅳ 研修の実施状況について

(本部主催分)

4月1日 4月6日 4月7日	3日間の日程で新任職員研修を実施
7月8日	全国社会福祉協議会副会長の古都賢一氏を講師としてお迎えし、「社 会福祉法人への期待」をテーマに講演会を実施
9月27日 1月24日	よりよい職場づくりセミナーを実施
3月21日	社会保険労務士を講師とし、管理的立場にある職員を対象に「ハラス メント研修」を実施

### V 採用関係について

6月22日	県社協主催の福祉人材合同面談会である「福祉の就職総合フェア 2024」 に参加
11月2日	児童指導員と保育士の法人一括採用を実施、5名を採用した。
2月9日	「熊本都市圏合同就職説明会」に参加

### VI ハラスメント関係

5月10日	5月10日に開催した施設長連絡会において、2023年8月から9月に 行ったハラスメント等調査結果を踏まえて、慈愛園におけるハラスメ ントの実情の報告とよりよい職場づくりへ向けた協議を実施
9月27日 1月24日 (再掲)	施設の運営に責任を有する職員(施設長を除く)を対象に、ハラスメントのないよりよい職場環境をつくるための具体的なアプローチ方法を学び、実践につなげるための職員研修を開催(よりよい職場づくりセミナーを実施)
3月21日	社会保険労務士を講師とし、管理的立場にある職員を対象に「ハラス メント研修」を実施

### VII 地域貢献について

6月14日 9月13日 12月13日 3月14日	地域の各種団体の情報交換の場である「ほっとネット砂取」の実施 (神水地区各施設)
7月5日	地域の高齢者と園児の交流会である「七夕の集い」の実施(愛光幼児 園)
11月22日	地域の高齢者を対象とした「ふれあい昼食会」の実施(神水地区各施 設)
12月20日	地域の高齢者と園児の交流会である「山の上団地いきいきサロン」の 実施(ひかり幼児園)
12月31日	地域の高齢者を対象とした「シルバーおせち宅配便」の実施(神水地 区各施設)
3月7日	地域の高齢者を対象とした「シルバー独身者ひな祭り」の実施(神水 地区各施設)
毎月1回	地域の住民を対象とした「慈愛園サロン」を実施(パウラス)
毎月1回	地域の高齢者を対象とした「ふれあいランチ」実施(ライトハウス)

### 子供ホーム

#### 1 部門の取組の総括

2024 年度は、コロナやインフルエンザなどの感染症は、普段からの感染症対策を徹底して行った結果、ホーム毎に数人の感染者がでた程度であり、大きなクラスターが発生することもなく、安定した生活を送ることが出来た。

しかしながら、入所児童の保護者や入所児童とかかわり方について、対応が困難なケースが多くなってきており、職員も対応に追われた。例えば、怪我をした児童を担当した職員に対し、ことあるごとに恫喝を行い、警察に被害届を出し、裁判を起こそうとしている保護者のケースや、入所している姉妹の女子児童が深夜徘徊を継続的に続け、警察を巻き込んでいるケースが起こっている。児童相談所や警察とも協力体制を強固にしていきたい。

児童の処遇改善については、携帯電話の使用に対し、取り決めを行うなどした 結果、一定の効果を出すことが出来た。

職員の処遇については、各種書類の書式変更等による業務の簡素化や職員個人への意識づけにより、労務管理について少しずつではあるが改善することが出来た。

安定的な職員確保については、退職者も多く、一時保護所の開設が出来ないなど課題を残す結果となった。

2025年4月開始の地域小規模の計画については、順調に進み、無事スタートを切ることが出来た。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

#### (1) 業務実施体制の整備

- ○職員の時間管理の徹底や年次有給休暇の取得促進を積極的に行った。職員が意識を持つことで、超勤等が少なくなった。また宿直報告など書式の簡素化を行うなど工夫も行った。
- ○自己評価のチェックリストを作成し、自分で仕事に対する評価のチェックが出来るようにした。
- ○職員確保については、年間で6名の採用を行ったが、退職者も6名出た。 退職者を出さないようにすることが今後の課題である。

目標	実 績	評 価
①時間管理の徹底や年休取得の	①労務管理の意識づけを行った。	
促進を行い働きやすい職場環		
境にする。		
②職員自身の仕事ぶりを点検、	②自己評価のチェックリストを作	3
改善できるようにする。	成、自分達でチェック出来るよう	3
	にした。	
③安定的に職員を確保する。	③年間で6名の採用を行ったが、退	
	職者も6名出た。結果、安定した	
	職員の確保が出来なかった。	

#### (2) 児童の処遇の改善

- ○児童のスマートフォンの使用について対策を行った。使用についてルールを徹底するなどの取り決めを行い、少しずつではあるが効果は出てきている。
- 〇地域小規模を 2 棟設置した(1 棟は新設、もう 1 棟は従来あったところから移設)。定員は 2 棟とも定員を 5 名とし、より家庭的な環境での処遇を行う。

目標	実 績	評 価
①児童のスマートフォン使用に	①スマートフォン使用についてのル	
ついてのルールを徹底するな	ールを徹底するなどの取り決めを	
どの取り決めを行う。	行い、効果が出ている。	4
②地域小規模1棟を新設する計	②地域小規模 1 棟を新設した。	
画を進める。		

#### (3) 多機能化への対応

- ○2025 年度に施設型一時保護所の設置を行うことで準備を行っていたが、 人員が不足しており、開所できなかった。
- ○熊本市よりショートステイ専用枠を検討するよう要請があり、プロポーザルに参加する予定。

目標	実 績	評 価
①2025 年度の施設型一時保護	①人員不足にて開所出来ていない。	
所の設置に向け、準備を行う。		
②ショートステイの定員外受入	②プロポーザル参加準備を行った。	2
のためプロポーザル参加準備		2
を行う。		

#### (4) 感染症対策(医療面)

○学校等での感染については避けられない状況であるが、園内で徹底した 感染症対策を講じた結果、2次感染の抑制が出来た。

目標	実 績	評 価
①園内での感染症対策の徹底を	①園内での2次感染の抑制が出来	
行う。	た。	
②施設内で感染を広げない計画	②ケアセンターの場所を確保するこ	5
を立てる。	とや、非常勤職員をホームに張り	
	付ける等の計画を立てた。	

#### 3 サービスの利用状況

2025年度に向け定員を減らす(45人)為、入所に関しては絞っている。ショートステイ利用者は以前と比べると少なめだが、常連の児童が利用してる。

#### (1) 本体在籍状況

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
初日	51	50	50	50	51	50	50	48	48	48	47	47	590
退所	1	0	0	0	1	0	2	0	1	1	0	6	12
入所	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2

#### (2) 子育て短期利用事業

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	4	2	3	3	2	6	6	3	3	3	1	2	38
レスパイト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

#### 4 苦情対応の状況

○苦情解決第三者委員会 2025 年 3 月 9 日開催

○苦情件数 1件

内容:入所児童保護者より、職員の対応(言葉遣い、態度等)への苦情

対応:苦情解決第三者委員会へ報告。保護者に対し謝罪した

# 5 行事等

4月	進級式 辞令交付式 タケノコ掘り スポーツ交流大会
5 月	
6月	
7月	七夕 夏期スポーツ大会
8月	
9月	
10 月	秋期スポーツ大会
11月	
12 月	冬季キャンプ 餅つき 大掃除
1月	元旦祝膳 正月外出
2 月	
3 月	卒園式 大掃除 幼児さん遠足 ホーム移動

### 6 研修の実施状況

4月	法人新人研修
5 月	LSW 体験講座
6月	九州児童福祉施設職員研修大会(長崎) 生活の中の LSW セミナー
7月	法人研修(法人への期待) 権利擁護セミナー 九州里親大会
8月	ルーテル社会福祉協会総会研修会
9月	子育てワークショップ FSW 研修(東京) 西日本児童養護施設職員セミナー
10月	虐待防止研修会 養協現任訓練 組織マネジメント研修 全養施設長研究大 会
11月	広報コミュニケーション研修 生活の中の LSW セミナー 小舎制研究会
12 月	SV 研修会 全国秋期セミナー LSW 応用編 養護協議会性教育研修会
1月	養協アドボカシー研修会 児童養護施設職員指導者研修
2月	全養中堅職員研修会 チームリーダー養成の為のワークショップ
3月	FLEC フォーラム

### 7 施設整備等

場所	内容	価格
エスター	エアコン取り替え工事	¥3,300,000
グラウンド	大型遊具購入	¥3,900,000

### 8 その他

○インシデント・アクシデント (レベルー1)

・薬の飲み忘れ・自傷行為・怪我・薬誤飲6件2件4件

※薬飲み忘れが多いが児童自身の飲み渋りも計上している。怪我には鼻骨骨折、 やけど、打撲などがあった。

### 乳児ホーム

#### 1 部門の取組の総括

2024年度は、感染経路不明のインフルエンザ、感染性胃腸炎(細菌性)が同時期に園内で流行した。多くの職員にも感染が広がり、最低限の隔離期間を取りながら、何とか状況を乗り切ることが出来た。

人員確保については急務の状況であるが、病児病後児保育(エーネホーム)に 勤務していたベテラン職員の定年退職に伴い、乳児ホーム本体からエーネホームへ2名の異動を行い、乳児ホーム本体が人員不足する事態となった。また今までは保育部門の職員と調理部門の職員の明確な区分はしていなかったが、衛生上の観点や職員の負担を減らすため2部門を独立する計画を立てたものの、職員の確保が出来ず、計画の進捗はしていない。

法改正に伴う 2024 年 4 月のフォスタリング機関から里親支援センターへの移行はスムーズに出来た。また、ショートステイの利用が増えて来ており、乳幼児養育センターとしての乳児院の役割を果たすため、2025 年度に定員外のショートステイを受け入れるためのプロポーザルに参加するための準備を行った。

ケースの方針決定や措置児童の受け入れ等について行政と多くの協議を必要 とし、申し入れを行っているが、合意に至らないケースも多く、今後もより良い 支援を行うために熊本県や市、児童相談所と協議を行っていく。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

#### (1) 業務実施体制の整備

- ○エーネホームに定年退職者が1名出たことで、本体から2名を異動させることとなったため、本体の人員体制が厳しくなった。人員確保により、職員の負担減については、達成できなかった。
- ○職員の業務負担を減らすことや衛生面を考え、保育部門と給食部門を独立させる計画を立てているが、職員確保が出来ておらず実行出来る段階ではない。

目標	実 績	評 価
①人員の確保を行い、職員の負	①人員確保が出来ておらず、職員の	
担を減らす。	負担減には繋がらなかった。	
②保育部門と給食部門を独立さ	②検討は行ったが、職員確保が出来	2
せる。	ず、実行は出来ていない。	

#### (2) 児童の処遇改善

- ○行政と共に、措置児童に寄り添った支援、対応を行って行くよう今後も 児相等に要請していく。
- ○熊本県と熊本市の枠について、未対応の措置児が出ないよう今後も要請していく。

目標	実 績	評 価
①児童相談所に対し、早急な対	①児童相談所へ申し入れを行ってお	
応と正確で確実な方針決定を	り、早急な対応を依頼している。	
してもらうよう申し入れを行		
う。		4
②熊本県や熊本市に対し、措置	②熊本県、市に申し入れを行った。	
人数の枠の調整をスムーズに	今後も協議を継続して行ってい	
行ってもらい、未対応の措置	< ∘	
児が出ないよう申し入れを行		
う。		

#### (3) 多機能化

- ○フォスタリング機関から里親支援センターへ移行することにより、 機能的にも増え、また職員も十分な対応が出来ている。
- ○現状ショートステイの利用が増加しており、緊急時の入所がある場合の見通しが立てにくいため、2025年度は定員外のショートステイの受け入れ検討を行うため、熊本市のプロポーザルに参加する準備を行う。

目 標	実 績	評価
<ol> <li>フォスタリング機関から里 親支援センターの移行をス ムーズに行う。</li> </ol>	① 移行についてはスムーズに行えた。機能的にも増えた形となったが職員達も対応してきている。	5
② 乳幼児養育センターとして の乳児院の役割を果たすた め、定員外のショートステ イ受け入れの検討を行う。	② 熊本市のプロポーザルに参加した。	

### (4) 感染症対策(医療面)

- ○感染症対策は徹底して行ったが、感染源が原因不明であった。今後の 感染症対策は、さらに注意を行い行って行く。
- ○隔離期間を十分に確保することが出来なかった。

目標	実 績	評 価
①職員に対する感染症対策の徹	①感染症対策については徹底した	
底を行う		3
②ショートステイ・一時保護の	②人員不足により、隔離期間を確保	
隔離期間の確保	することが出来なかった	

### 3 サービスの利用状況

熊本市と熊本県の措置の枠の融通について、入所できない子供が発生しないよう今後も働きかけていく。

#### (1) 本体在籍状況

(名)

														<u> </u>
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
初日	14	13	13	13	14	14	13	11	11	11	10	13	150	12.5
退所	4	1	1	0	0	1	2	1	0	1	0	4	15	1.25
入所	3	1	1	1	0	0	0	1	0	0	3	1	11	0.9

#### (2) 子育て短期利用事業

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
ショート	0	0	3	9	0	12	8	5	15	4	5	10	71	5.9
利用者	0	0	1	2	0	4	2	2	1	2	3	4	21	1.7
レスパイト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### (3) 病児保育

(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
利用者	17	30	32	29	11	14	22	22	14	19	19	22	251	21

### (4) もうすぐパパママ教室

(名)

														\ <b>H</b> /
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
利用者	4	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	8	1.3

### 4 苦情対応の状況

○苦情解決第三者委員会 2025 年 2 月 24 日

○2024 年度苦情受付件数 0件

### 5 行事等

4月	
5月	こどもの日
6月	
7月	七夕
8月	
9月	
10 月	ハロウィン
11月	
12月	クリスマス
1月	正月
2月	節分
3 月	ひなまつり

### 6 研修の実施状況

4月	法人新人研修 辞令交付式							
5月	ケアワーカー部会 給食担当者会							
6月	アンガーマネジメント研修 キャリアパス初任 全乳研修会							
7月	LSW 基礎研修 熊乳部会研修							
8月	職員指導者研修 OJT 研修 初任者伝える力研修							

9月	チームビルディング研修 LSW セミナー
10月	社会的養護職員研修 児童福祉総合研修
11月	キャリアパス中堅職員研修会
12月	
1月	ケアワーカー部会研修 子ども ADV 研修
2月	モチベーションアップ研修 医療看護セミナー 上級職員研修
3月	児童福祉総合研修 FLEC 研修

### 7 施設整備等

場所	内容	価格
本体	衣類乾燥機	¥ 1,100,000

#### 8 その他

○インシデント・アクシデント

(レベル1)

・転倒	4件
・噛みつき	11 件
・打撲	5件
・転落	1件
・与薬関係	7件

(レベル2)病院対応 0件

※今年度は与薬関連トラブルが多かった。誤薬は 2 件だが薬をこぼす、使用不能にする、与薬時間の誤りなど扱い方に問題のある今までに無いパターンが多い。噛みつきも多く日々の養育の緊張感を持った対応がなされておらず、指導を行っていく。

### 慈愛園老人ホーム

#### 1 部門の取組の総括

2024年度も従前からの深刻な定員割れによる既存の物理的資源や人的資源の不足や厳しい財政状況の中で、職員が一丸となってイエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神、慈愛園創立者モード・パウラス博士の「散らされた人々を集め、ひとりも失われないようにする」という創立の理念並びに老人福祉法(昭和38年法律第133号)の目的及び基本的理念を今日的状況において具現化するためには何を為すべきかという不断の問いを立て、入居者の安全、安心と自立(自律)した日常生活を実現するために福祉サービスの公準である公平性、効果性、効率性、接近性に適うことができる良質で適切なサービスの提供に努めた。

また、2024 年 10 月 4 日に法人本部が実施した「職場におけるハラスメント等に関するアンケート調査 2024」の結果 (ケアハウス含む)、職場の雰囲気や人間関係について「あまり良くない」「大変悪い」という指摘が 2023 年の19%から0%に減少したこと、職場でのハラスメントが「ある」という指摘が2023 年の43%から0%に減少した事からも明らかなように、ハラスメントのない良い職場環境が整備されつつあることは特筆すべきことである。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

#### (1) 慈愛園創立の理念と実践の理解

数値目標		達成状況			
なし		1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	同	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	同	70~
		89%を目安)			
	0	4. 概ね達成できた	(	同	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- 一人一人の職員がキリスト教社会福祉の意義と慈愛園の歴史及びパウラス先生の思いについて学ぶことを通して、慈愛園職員としての自覚と責任を有して日々の福祉実践を行うために、朝礼時の聖書拝読と『くるみの実のなるころ』の輪読を継続できている。
- (2) 効率的で持続可能な施設経営と運営管理体制を整備する

数値目標		達成状況			
なし		1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	同	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	同	70~
		89%を目安)			
	0	4. 概ね達成できた	(	同	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- ① 定年退職に伴う負の影響を最小限に抑制し、これまでの業務を断続することなく、ベテラン職員が蓄積してきた支援のノウハウを発展的に継続していくために、2023年度に引き続き、合計2名の再雇用職員の就業継続を実現できた。
- ② 福祉人材の養成確保体制を強化するために、職員 2 名を社会福祉士実習 指導者講習会に参加させ、実習受け入れ体制の強化を図った(2024 年度 末社会福祉士実習指導者 3 名、介護福祉士実習指導者 1 名)。
- ③ ICT を活用した効率的な情報共有と業務に係るエビデンスを収集するために、Google による無料サービスをはじめ、オープンソースによるデータベースやデータ分析ツールを積極的に活用するとともに、既存データの確実な管理方法についても整備できつつある。
- ④ 熊本市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例第6条に基づくサービスの質の評価を実施し、その結果については、全職員と 共有し、フィードバックを行い、課題の析出を行った。
- ⑤ なお、職員会議やケース会議等の各種会議の効率的かつ効果的な実施方法については引き続きの課題となっている。

#### (3) 措置入所による定員充足率 70%以上の確保

数値目標		達成状況			
あり	$\circ$	1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	同	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	同	70~
		89%を目安)			
		4. 概ね達成できた	(	同	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

○ 2024 年度末における措置及び緊急入所の定員充足状況は 48 名 (68.6%)、契約入所は 4 名であった。措置入所による定員充足が期待できない状況の中で、一定水準以上の定員充足率を維持していくためには、傷害、疾病や死亡による退所を極力少なくするしかないとの観点から、支援体制と連動した健康管理と栄養管理体制を整備し、モニタリングと早期の介入を意図的に行うことはできたが、措置制度という構造的な要因により、2024 年度も今年度も数値目標を達成することはできなかった。

#### (4) 施設内業務の分業化と多職種連携の徹底

数値目標		達成状況			
なし	$\circ$	1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	司	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	司	70~
		89%を目安)			
		4.概ね達成できた	(	司	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	司	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- ① 将来に向けて相談員業務と支援員業務の分業化については、人員配置 も視野に入れて、検討を行っているが、実現には至っておらず、下記 事項についても具体的に取り組むことはできなかった。
  - ▶ 多職種連携を徹底する観点から、業務分掌の確認と業務実施状況の 振り返りと課題整理を年間で2回実施する。
  - ▶ 生活相談員による入居者全員に対する定期的な個別面接の実施を実現し、ニーズ分類を行い、多職種連携による支援を実施する。
- (5) 家族、外部の関係機関や団体、地域住民との連携の強化

数値目標		達成状況			
なし		1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	司	50~
		69%を目安)			
	$\circ$	3. ある程度達成できた	(	同	70 <u>~</u>
		89%を目安)			
		4. 概ね達成できた	(	司	90∼
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	司	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- ① 家族その他の関係者等と協働して入居者の支援のためのソーシャルワークに関する助言指導を強化するために、支援記録の内容を踏まえて、必要に応じて随時かつ迅速に相談員ラインに対してフィードバックを行うようにした。また、支援記録の内容を踏まえて、必要に応じて随時かつ迅速にそれぞれの専門職に対して、その役割に応じたフィードバックを行い、入居者が要介護状態になっても可能な限り施設での生活が継続できるように心身の状況変化に対する早期発見と早期対応に努め、家族その他の関係者との連携を図りつつ、入居者の自己選択と自己決定による外部の保健医療福祉サービスの活用を支援することができた。
- ② 地域の町内会や消防団等の構成員として地域社会への貢献活動を行った。

#### 3 サービスの実施状況(2025年3月31日現在)

#### (1) 入退所状況(表 3-1、表 3-2)

○ 2024 年度の措置入所及び緊急入所の入退所状況については、全体 (計)では在宅からの入所が 10 名、病院からの入所が 2 名、施設から の入所が 0 名の合計 12 名であった。一方、退所については、長期入院 による退所が 1 名、他施設への移動による退所が 5 名、死亡による退 所が 5 名の合計 11 名となっており、入所数が退所数を 1 名上回ってお り、2015 年度以降 10 年ぶりに入所数が退所数を上回ることができた が、定員充足については、依然として厳しい状況となっている。

表 3-1 2024 年度入退所の状況

				入戸	所者の物	 犬況								退剂	「者の	 犬況					1日在	末日在
月	在宅		病院		施設		その他	3	合計	長期2	、院	他施設	ŧ	死亡		在宅		その化	b	合計	籍数	籍数
	措置	緊急	措置	緊急	措置	緊急	措置	緊急		措置	緊急	措置	緊急	措置	緊急	措置	緊急	措置	緊急			
4									0											0	46	46
5		2							2											0	46	48
6									0					1						1	48	47
7	1	1							2				1							1	48	48
8									0	1				1						2	48	46
9	1	1							2			1	1							2	46	46
10	1		1						2											0	46	48
11									0											0	48	48
12									0				1							1	48	47
1	1								1											0	47	48
2	2		1						3			1		1						2	48	49
3									0					2						2	48	47
合計	6	4	2	0	0	0	0	0	12	1	0	2	3	5	0	0	0	0	0	11	47.25	47.33

表 3-2 2014 年度以降の入退所の状況

			菜	感愛園老.	人ホー	・ム 入退所	斤状況					
	入園					退園						入園-退園
年度	在宅	病院	施設	その他	合計	長期入院	他施設	死亡	在宅	その他	合計	
2014	7	4	3	0	14	3	6	1	0	0	10	4
2015	3	1	3	0	7	3	2	4	0	0	9	-2
2016	3	0	0	2	5	1	5	0	0	2	8	-3
2017	4	3	1	1	9	4	4	2	0	1	11	-2
2018	3	1	1	0	5	4	2	5	0	0	11	-6
2019	0	1	1	1	3	2	0	5	0	1	8	-5
2020	3	1	0	2	6	0	2	6	0	2	10	-4
2021	7	2	1	0	10	2	2	8	0	0	12	-2
2022	4	1	2	0	7	1	5	3	1	0	10	-3
2023	4	1	2	0	7	2	8	1	0	0	11	-4
2024	10	2	0	0	12	1	5	5	0	0	11	1
合計	48	17	14	6	85	23	41	40	1	6	111	-26

#### (2) 入居者の状況 (表 3-3)

- ① 定員充足状況等
  - 2024 年度末の措置等(緊急入所措置含む)入居者の状況は、定員70 名に対して47(措置=42、緊急=5)名であり、定員充足率は67.1%であった。また、契約入居者は4名であった。

#### ② 基本属性

- 性別については、措置等では男性が 19 名 (40.4%)、女性が 28 名 (59.6%) であり、男性よりも女性の入居者が多かったが、男性については、2023 年度の 16 名から 3 名増加した一方で、女性については 30 名から 2 名減少しており、2023 年度に比して、2024 年度は男性入居者の構成比が大きくなっていた。また、契約では、男性が 2 名 (50.0%)、女性が 2 名 (50.0%) となっており、男性と女性とが同数となっていた。
- 年齢については、措置等では男性の平均年齢が 78.89 歳 (S.D.=5.03)、中央値が 77 歳、女性の平均年齢が 82.82 歳 (S.D.=6.80)、中央値が 83.0 歳となっており、男性よりも女性の 年齢が高かった。また、契約では男性 2 名が 74 歳と 92 歳、女性 2 名が 88 歳と 90 歳となっていた。

#### ③ 在所期間の状況

○ 在所期間については、措置等では男性の平均年数が 3.42 年 (S.D.=4.06)、女性の平均年数が 4.21 年 (S.D.=4.37) であり、男性よりも女性の在所期間が長かった。また、契約等では男性 2 名が 4.0 年、女性 2 名の最小値が 2 年、最大値が 4 年となっていた。

#### ④ 後見人等の状況

○ 後見人等については、措置等の男性では成年後見人がいる者が1名 (5.3%)、保佐がいる者が1名(5.3%)、女性では成年後見人がい る者が3名(10.7%)、保佐がいる者が4名(14.3%)であった。 また、契約等については、男女ともに成年後見人や保佐がいる者は 0名(0.0%)であった。

#### ⑤ 障害の状況

- 精神障害の有る者は、措置等の男性では6名(31.6%)、女性では4名(14.3%)、契約の男性では1名(50.0%)、女性では0名(0.0%)であった。
- 知的障害の有る者は、措置等及び契約ともに 0 名(0.0%)であっ

た。

○ 身体障害の有る者は、措置等の男性では5名(26.3%)、女性では2名(7.1%)、契約では男女ともに0名(0.0%)であった。

#### ⑥ ADLの状況

○ 入居者の ADL をバーセルインデックス (Barthel Index)で評価した 結果、自立の状態に有る者は、措置等の男性では 10 名 (58.8%)、 女性では 14 名 (51.9%)、契約では男女ともに 100%であった。

#### ⑦ 要支援・要介護度の状況

○ 要支援・要介護等の状況については、措置等の男性では認定無しが 10名 (58.8%)、女性では認定無しが 11名 (39.3%)、契約の男性 では認定無しが 0名 (0.0%)、女性では認定無しが 1名 (50.0%) であった。

#### ⑧ 認知症の有無

○ 認知症の有無については、措置等の男性では認知症無しが 13 名 (68.4%)、女性では認知症無しが 14 名 (50.0%)、契約の男性では認知症無しが 2 名 (100.0%)、女性では認知症無しが 0 名 (0.0%) であった。

#### ⑨ 居宅サービス利用状況

○ 各種の居宅サービスの利用状況については、表 3-3 の通りであり、措置等では、主に福祉用具貸与やデイサービスを利用し、契約ではこれらのサービスの他に訪問介護、訪問看護を利用していた。

表 3-3 入居者の状況(2025 年 3 月 31 日現在)

		措置等=47(充	足率=67.1%)		契約=4		
	Group	措置等	男性	女性	契約	男性	女性
n (%)		47(100.0)	19(40.4)	28(59.6)	4(100.0)	2(50.0)	2(50.0)
年齢	平均值 (S.D.)	81.23 (6.39)	78.89 (5.03)	82.82 (6.80)	86.00 (8.16)	83.00 (12.73)	89.00 (1.41)
	最小値	68.0	68.0	72.0	74.0	74.0	88.0
	中央値	81.0	77.0	83.0	89.0	83.0	89.0
	最大値	94.0	88.0	94.0	92.0	92.0	90.0
在所期間	平均值 (S.D.)	3.89 (4.22)	3.42 (4.06)	4.21 (4.37)	3.75 (0.50)	4.00 (0.00)	3.50 (0.71)
	最小値	0.0	0.0	0.0	3.0	4.0	2.0
	中央値	2.0	2.0	3.0	4.0	4.0	3.5
	最大値	15.0	13.0	15.0	4.0	4.0	4.0
後見人等 (%)	成年後見人	4 ( 8.5)	1 ( 5.3)	3 ( 10.7)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	保佐	5 ( 10.6)	1 ( 5.3)	4 ( 14.3)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	無し	38 ( 80.9)	17 (89.5)	21 ( 75.0)	4 (100.0)	2 (100.0)	2 (100.0)
精神障害有無(%)	無し	37 ( 78.7)	13 ( 68.4)	24 ( 85.7)	3 (75.0)	1 ( 50.0)	2 (100.0)
	有る	10 ( 21.3)	6 (31.6)	4 ( 14.3)	1 ( 25.0)	1 (50.0)	0 ( 0.0)
知的障害有無(%)	無し	46 (100.0)	19 (100.0)	28 (100.0)	4 (100.0)	2 (100.0)	2 (100.0)
身体障害有無(%)	無し	40 ( 85.1)	14 ( 73.7)	26 ( 92.9)	4 (100.0)	2 (100.0)	2 (100.0)
	有る	7 ( 14.9)	5 ( 26.3)	2 ( 7.1)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
BI得点(3月)	平均值(S.D.)	80.00 (23.15)	81.76 (23.58)	78.89 (23.26)	95.00 (5.77)	90.00 (0.00)	100.00 (0.00)
n=48	最小値	5.0	20.0	5.0	90.0	90.0	100.0
	中央値	90.0	90.0	90.0	95.0	90.0	100.0
	最大値	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0
BI判定(3月)(%)	自立	24 ( 54.5)	10 ( 58.8)	14 ( 51.9)	4 (100.0)	2 (100.0)	2 (100.0)
n=48	部分自立	14 ( 31.8)	5 ( 29.4)	9 ( 33.3)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	大部分介助	3 ( 6.8)	0 ( 0.0)	3 (11.1)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	全介助	3 ( 6.8)	2 (11.8)	1 ( 3.7)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
要介護等(%)	認定無し	21 ( 44.7)	10 (52.6)	11 ( 39.3)	1 ( 25.0)	0 ( 0.0)	1 (50.0)
	要介護1	6 ( 23.1)	3 (33.3)	3 (17.6)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	要介護2	6 ( 23.1)	2 ( 22.2)	4 ( 23.5)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	要介護3	4 ( 15.4)	0 ( 0.0)	4 ( 23.5)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	要介護4	1 ( 3.8)	0 ( 0.0)	1 ( 5.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	要介護5	1 ( 3.8)	0 ( 0.0)	1 ( 5.9)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
	要支援1	5 ( 19.2)	2 ( 22.2)	3 (17.6)	2 ( 66.7)	1 (50.0)	1 (100.0)
	要支援2	3 (11.5)	2 ( 22.2)	1 ( 5.9)	1 ( 33.3)	1 (50.0)	0 ( 0.0)
認知症有無(%)	認知症無し	27 ( 57.4)	13 (68.4)	14 ( 50.0)	2 ( 50.0)	2 (100.0)	0 ( 0.0)
	可能性有り	8 ( 17.0)	4 ( 21.1)	4 ( 14.3)	2 ( 50.0)	0 ( 0.0)	2 (100.0)
	認知症有り	12 ( 25.5)	2 ( 10.5)	10 ( 35.7)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
福祉用具貸与(%)	利用無し	36 ( 76.6)	13 ( 68.4)	23 ( 82.1)	3 ( 75.0)	1 (50.0)	2 (100.0)
	利用有り	11 ( 23.4)	6 (31.6)	5 (17.9)	1 ( 25.0)	1 (50.0)	0 ( 0.0)
訪問介護(%)	利用無し	45 ( 95.7)	19 (100.0)	26 ( 92.9)	2 ( 50.0)	0 ( 0.0)	2 (100.0)
	利用有り	2 ( 4.3)	0 ( 0.0)	2 ( 7.1)	2 ( 50.0)	2 (100.0)	0 ( 0.0)
デイサービス (%)	利用無し	33 ( 70.2)	15 ( 78.9)	18 ( 64.3)	3 ( 75.0)	2 (100.0)	1 (50.0)
	利用有り	14 ( 29.8)	4 (21.1)	10 (35.7)	1 ( 25.0)	0 ( 0.0)	1 (50.0)
デイケア (%)	利用無し	44 ( 93.6)	18 ( 94.7)	26 ( 92.9)	4 (100.0)	2 (100.0)	2 (100.0)
	利用有り	3 ( 6.4)	1 ( 5.3)	2 ( 7.1)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
訪問看護 (%)	利用無し	46 ( 97.9)	19 (100.0)	27 ( 96.4)	1 ( 25.0)	0 ( 0.0)	1 (50.0)
	利用有り	1 ( 2.1)	0 ( 0.0)	1 ( 3.6)	3 ( 75.0)	2 (100.0)	1 (50.0)

- (3) 職員の状況 (2025年3月31日現在)
  - ① 職員の年齢分布 (表 3-3)
    - 当施設職員の年齢は、40代以上が15名中10名と半数以上を占めていることから、計画的な人事政策と定年退職を視野に入れた後進育成が課題となっている。

表 3-3 職員の年齢分布

就業形態	職種/年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
1.常勤	01.施設長				1			1
1.常勤	02.事務長			1				1
	04.主任相談員			1				1
	05.相談員	2						2
	07.支援員	1		1				2
	08.看護職			1				1
	09.栄養士	1						1
	10.調理員				1			1
2.再雇用	06.主任支援員					1		1
	07.支援員					1		1
3.非常勤	07.支援員		1					1
	10.調理員				1		1	2
総計		4	1	4	3	2	1	15

#### ② 職員の主要資格 (表 3-4)

○ 当施設の常勤の専門職員(再雇用含む、事務長除く)のうち、職種に応じた専門資格を有していない者は1名のみであり、無資格者の資格取得を支援するとともに、有資格者の強みを活かした専門性の高い支援を展開することに加え、専門職に係る実習の受け入れを積極的に行っていくことで福祉人材の養成確保に積極的に取り組んでいるところである。

表 3-4 職員の主要資格

就業形態	職種/資格	01.社会福祉士	03.介護福祉士	05.准看護師	07.管理栄養士	08.調理師免許	10.特になし	総計
1.常勤	01.施設長	1						1
1.常勤	02.事務長						1	1
	04.主任相談員	1						1
	05.相談員	2						2
	07.支援員		1				1	2
	08.看護職			1				1
	09.栄養士				1			1
	10.調理員					1		1
2.再雇用	06.主任支援員		1					1
	07.支援員		1					1
3.非常勤	07.支援員		1					1
	10.調理員					1	1	2
総計		4	4	1	1	2	3	15

### 4 苦情対応の状況

- 2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日までの苦情受付件数は 3 件であり、全て対応し解決済みである。
- なお、その旨を 2025 年 3 月 24 日に開催された苦情解決第三者委員会 にて報告を行った。
- 5 主な行事
- 6 研修の実施状況
  - $\bigcirc$  2024 年度の主な園内行事及び研修の実施状況については、表 5-1 に示すとおりであった。

表 5-1 2024 年度 慈愛園老人ホーム・ケアハウス年間活動報告

1	3-1 $20$		< P	7	パポーム・グラ	/ //-	T-11	-111F	J 35/J 千区 [L]		
月	日付	園内行事	老	ケ	研修会参加状況	参加者	老	ケ	実習・ボランティ ア・施設見学受入 れ	老	ケ
4	2024/04/01	辞令交付式	0	0							
	2024/04/08	ケース会議		0							
	2024/04/08	運営会議	0	0							
	2024/04/08	支援員会議	0								
	2024/04/11	施設長会	0	0							
	2024/04/15	職員会議	0	0							
	2024/04/15	ケース会議	0								
	2024/04/17	誕生会	0	0							
	2024/04/22	職場研修 個人情報保護 について	0	0							
	2024/04/01				慈愛園新人職員研 修①	宮本コ、 宮澤	0				
	2024/04/06				慈愛園新人職員研 修②	宮本コ、 宮澤、高 濱	0	0			
	2024/04/07				慈愛園新人職員研 修③	宮本コ、 宮澤、高 濱	0	0			
5	2024/05/09	ケース会議		0							
	2024/05/09	運営会議	0	0							
	2024/05/09		0								
	2024/05/10		0	0							
	2024/05/13		0	0							
	2024/05/13		0								
	2024/05/15	誕生会	0	0							
	2024/05/27	職場研修 感染症(法定)	0	0							
6	2024/06/03	ケース会議		0							

	2024/06/03	<b>軍尚入詳</b>						l		l	l İ
			0	0							
	2024/06/03		0	0							
	2024/06/06		0	0							
		職員会議(コ ロナ感染症感 染拡大のため 延期)	0	0							
	2024/06/10	ケース会議 (コロナ感染 症感染拡大の ため延期)	0								
	2024/06/12	誕生会(コロナ感染症感染拡大のため中止)	0	0							
	2024/06/25	職場研修 虐待防止・身 体拘束(法定)7 月9日に変更	0	0							
	2024/06/16								松尾自動車ボラン ティア訪問(エア コン清掃)コロナ 感染症感染拡大の ため中止	0	0
	2024/06/20								福岡市南区役所 地 域保健福祉課より 施設見学(民生委 員)	0	
	2024/06/09								神水教会学校花の 日訪問		0
	2024/06/07								神水幼稚園花の日 訪問	0	0
	2024/06/22				福祉の就職総合フェア・K K R ホテル	潮谷力	0	0			
	2024/06/08	身体拘束適正 化委員会(鐘 ヶ江ソヨの身 体拘束につい て)	0								
7	2024/07/02	ケース会議		0							
	2024/07/03	運営会議	0	0							
	2024/07/03	支援員会議	0	0							
	2024/07/11	施設長会	0	0							
	2024/07/09	職員会議	0	0							
	2024/07/09	虐待防止・身 体拘束(法定) ※6 月振替分	0	0							
	2024/07/24	ケース会議	0								
	2024/07/10	誕生会(コロ ナ感染症感染 拡大防止のた め中止)	0	0							
	2024/07/30	職場研修 BCP について	0	0							

i	0004/07/00	.o. + 4 4				出る田		ı			i í
	2024/07/06	パウラス先生 記念会	0	0		潮谷園 長、牧、 高濱					
	2024/07/08		0	0	古都憲一氏講演会 (法人研修)	潮長 道松、大人、三、八十二、三、八十二、八十二、八十二、八十二、八十二、八十二、八十二、八十二、八十二、八十二	0	0			
	2024/07/09	納骨堂清掃	0	0							
	2024/07/15	召天者記念会 (慰霊祭)	0	0							
	2024/07/13				熊本学園大学ソー シャルワーク実習 指導者打ち合わせ 会	重松	0				
	2024/07/31	ケース会議 (8月)		0							
	2024/07/31	運営会議(8月)	0	0							
	2024/07/31	ケース会議 (8月)	0								
	2024/07/31	支援員会議(8月)	0								
8	2024/08/01	ケース会議 (7/31 実施)		0							
	2024/08/01	運営会議 (7/31 実施)	0	0							
	2024/08/01	支援員会議 (7/31 実施)	0	0							
	2024/08/08	施設長会	$\circ$	$\circ$							
	2024/08/07	職員会議	$\circ$	$\circ$							
	2024/08/01	ケース会議 (7/31 実施)	0								
	2024/08/21		0	0							
		職場研修(8 月休み)	0	0							
	2024/08/22	消防設備点検	$\circ$								
	2024/08/23	消防設備点検		0					熊本学園大ソーシャルワーク実習 2名 名8月19日-9月20日まで	0	
	2024/08/23	非常用自家発 電機点検	0	0					介護等体験実習①3 名 8/19-8/23	0	
									介護等体験実習②4 名 8/26-8/30	0	
	2024/08/03								神水盆踊り	0	0
	2024/08/17								砂取夏祭り	0	0
	2024/08/07								水前寺公園交番連 絡協議会定例会 (早道)	0	
	2024/08/19				ルーテル社会福祉 協会総会 8/19- 8/20	潮谷力		0			
	2024/08/25				るうてる法人会連 合オンライン研修	宮澤、高 濱	0	0			

9	2024/09/02	ケース会議	0								
	2024/09/02		0	0							
	2024/09/02		0								
	2024/09/12		0	0							
	2024/09/10		0	0							
			O								
	2024/09/03			0							
	2024/09/25		0	0							
		遊友小子老デー	0	0							
	2024/09/13	ほっとネット 砂取	0	0							
	2024/09/18	敬老お祝い会	0	0					介護等体験実③4 名 9/2-9/6	0	
	2024/09/30	職場研修(事故 防止)	0	0					介護等体験実④1 名 9/23-9/27	0	
	2024/09/18		0		県老施協生活相談 員研修	重松			出水南中ナイスト ライ 3 名 9/10- 9/13	0	
	2024/09/20								のべおか男女共同 参画会議21より 施設見学(佐々木 氏)	0	0
									ルーテル中福祉体 験実習 9/18-9/20	0	
	2024/09/30								くわみず病院病院 利用委員会(潮谷 園長)	0	0
	2024/09/27				慈愛園職員研修 (よりよい職場づ くり実践セミナ ー)	潮谷カ、 鍋内	0	0			
10	2024/10/01	ケース会議		0					介護等体験実 1 名 10/21-10/25(1 名)	0	
	2024/10/01	運営会議	0								
	2024/10/01	支援員会議	0								
	2024/10/10	施設長会	0	0							
	2024/10/01		0	0							
	2024/10/02			0							
	2024/10/16		0	0							
	, - 3, 10	職場研修(休み)	0	0							
	2024/10/16								韓国慶北道立大学社会福祉学部視察(24名)	0	0
	2024/10/25								ほっとネット砂取り臨時集会(潮谷か)	0	0
	2024/10/10				高齢者施設における虐待・ハラスメント防止研修会 (軽費・ケアハウス協議会研修会)	潮谷力		0		0	0
11	2024/11/05	ケース会議		0							

2024/11/10   支援員会議 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		2024/11/05	<b>運</b> 電 一	0	0		ľ					i i
2024/11/14 施設長会   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○				_								
2024/11/13												
2024/11/05 ケース会議							l					
2024/11/13   誕生会   ○ ○   ○ ○   ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					$\cup$							
2024/11/20   職場研修   公文   公文   公文   公文   公文   公文   公文   公				-								
2024/11/17   2024/11/17   2024/11/17   2024/11/16   2024/11/10   津田塾大学学長講演会   平道、富文文、宮本工、波佐   西村、高 図												
2024/11/15		2024/11/20	感染症につい									
2024/11/10		2024/11/17								ティア訪問(ケア ハウスクリスマス		0
演会 本美、牧、宮本コ、波佐 間		2024/11/15								神水幼稚園収穫祭		0
設研究大会   濱		2024/11/10					本美、 牧、宮本 コ、波佐	0	0			
2024/11/21   全国老人福祉施設 大会・研究会議 (送賀)   全国老人福祉施設 大会・研究会議 (送賀)   全国老人福祉施設 大会・研究会議 (送賀)   社会福祉土実習指 専者講習会(~24 円)、潮谷		2024/11/19						0	0			
大会・研究会議 (滋賀)		2024/11/20				ュー事業 CSW 初	鍋内	0				
大会・研究会議 (滋賀)		2024/11/21				大会・研究会議	潮谷園長	0				
導者講習会(~24 内) 加		2024/11/22				大会・研究会議	潮谷園長	0				
2024/11/30		2024/11/23				導者講習会(~24	内、潮谷	0	0			
12 2024/12/01		2024/11/25								城北高校調理実習 (1名)~29日	0	
ファーション支援 宮本コ、真金		2024/11/30				-「アルコール依		0				
2024/12/02 運営会議	12	2024/12/01				リテーション支援	宮本コ、	0				
2024/12/02 支援員会議		2024/12/02	ケース会議	0	0							
2024/12/12 施設長会   ○   ○		2024/12/02	運営会議	0	0							
2024/12/23 職員会議   ○   ○		2024/12/02	支援員会議	0								
2024/12/12   慈愛園総合防		2024/12/12	施設長会	0	0							
火訓練       2024/12/19 ホームクリスマス     〇〇       2024/12/11 誕生会     〇〇       2024/12/23 職場研修虐待防止、身体拘束につい     〇〇		2024/12/23	職員会議	0	0							
マス 2024/12/11 誕生会 ○ ○ ○ 2024/12/23 職場研修 虐待防止、身 体拘束につい		2024/12/12		0	0							
2024/12/23   職場研修   虐待防止、身   体拘束につい		2024/12/19		0	0							
虐待防止、身 体拘束につい		2024/12/11	誕生会	$\bigcirc$	0							
		2024/12/23	虐待防止、身	0	0							

	2024/12/16	建物設備点検 (九州建物調 香)	0	0							
	2024/12/17	<u> </u>			令和6年度県老協 養護老人ホーム施 設長会議	潮谷園長	0				
	2024/12/13								ほっとネット砂取	0	0
	2024/12/20								ルーテル学院中ク リスマス訪問	0	0
1	2025/01/06	ケース会議	0	0							
	2025/01/06	運営会議	0	0							
	2025/01/06	支援員会議	0								
	2025/01/09	施設長会	0	0							
	2025/01/14	職員会議	0	0							
	2025/01/15	誕生会	0	0							
	2025/01/19	貯水槽清掃 (本山設備)	0	0							
	2025/01/27	職場研修 虐待防止、身 体拘束につい て	0	0							
	2025/01/27	相談員会議	0								
	2025/01/28	ワックスがけ		0							
	2025/01/24				第2回慈愛園職員 研修(よりよい職 場づくり実践セミ ナー)	潮谷カ、鍋内	0	0			
	2025/01/26				学園大学社会福祉 学部ソーシャルワ ーク実習懇談会・ 打ち合わせ会	重松	0				
	2025/01/24								8町内自治会運営 委員会(早道)	0	0
	2025/01/27	職場研修 BCP について	0	0					泉ヶ丘校区民生委 員施設見学	0	
2	2025/02/03		0	0							
	2025/02/03	運営会議	0	0							
	2025/02/03	支援員会議	0								
	2025/02/13		0	0							
	2025/02/10	職員会議	0	0							
	2025/02/10	相談員会議	0	0							
	2025/02/12	誕生会	0	0							
	2025/02/25	職場研修 認知症につい て	0	0							
	2025/02/02	節分豆まき	0								
	2025/02/03	節分豆まき		0		ļ					
	2025/02/12				高齢者の人権についての研修(パウラス ホームにて)	高濱		0	熊本学園大ソーシャルワーク実習 2名 2月 12日~ 2月 19日	0	
	2025/02/13	消防設備点検	0								
		消防設備点検		0							

i		ı							1		
3	2025/03/03	ケース会議	0	0							
	2025/03/03	運営会議	0	0							
	2025/03/03	支援員会議	0								
	2025/03/13	施設長会	0	0							
	2025/03/10	職員会議	0	0							
	2025/03/10	相談員会議	0	0							
	2025/03/12	誕生会	0	0							
	2025/03/24	職場研修 事故防止につ いて	0	0							
	2025/03/14								泉ヶ丘校区民生委 員講演(園長)	0	0
	2025/03/14								ほっとネット砂取	0	0
	2025/03/21				法人ハラスメント 研修	三島、早 道、宮本 ミ、潮谷 カ	0	0			
	2025/03/14										
	2025/03/21								8 町内運営委員会	0	0

### 7 施設整備等

○ 2024 年度の主な施設整備・修繕(10万円以上)及び固定資産の取得については、表 7-1 及び表 7-2 に示すとおりであった。

表 7-1 2024 年度施設整備・修繕(10万円以上)

	TO TO THE TOTAL TO THE TOTAL TO THE TOTAL TO THE TOTAL TOTAL TO THE TOTAL TOTA						
施 設	日付	施設整備・修繕内容	金額(円)	備考			
老人ホーム	2024/04/09	火災報知器取替(ひかりホーム)	¥1,650,000	熊本綜合管理			
	2024/04/11	給水ポンプユニット修理(ひかりホ ーム)	¥147,400	本山設備			
	2024/10/20	ボイラー循環ポンプ修理	¥264,000	巴商会			
	2025/02/28	井戸ポンプ室排水ポンプ取替工事	¥117,700	本山設備			
		エレベーター修理(いずみホーム)	¥262,141	日立ビルシステ			
				厶			
合 計			¥2,441,241				

表 7-2 2024 年度固定資産の取得

施設	日付		金額(円)	備考	
老人ホーム	2024/04/09	火災報知器取替(ひかりホーム)	¥1,650,000	熊本綜合管理	
合 計			¥1,650,000		

## 慈愛園ケアハウス

#### |1 部門の取組の総括

2024年度も従前からの深刻な定員割れによる既存の物理的資源や人的資源の不足や厳しい財政状況の中で、職員が一丸となってイエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神、慈愛園創立者モード・パウラス博士の「散らされた人々を集め、ひとりも失われないようにする」という創立の理念並びに老人福祉法(昭和38年法律第133号)の目的及び基本的理念を今日的状況において具現化するためには何を為すべきかという不断の問いを立て、入居者の安全、安心と自立(自律)した日常生活を実現するために福祉サービスの公準である公平性、効果性、効率性、接近性に適うことができる良質で適切なサービスの提供に努めた。

また、2024 年 10 月 4 日に法人本部が実施した「職場におけるハラスメント等に関するアンケート調査 2024」の結果 (老人ホーム含む)、職場の雰囲気や人間関係について「あまり良くない」「大変悪い」という指摘が 2023 年の19%から 0%に減少したこと、職場でのハラスメントが「ある」という指摘が2023 年の43%から 0%に減少した事からも明らかなように、ハラスメントのない良い職場環境が整備されつつあることは特筆すべきことである。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

#### (1) 慈愛園創立の理念と実践の理解

数値目標		達成状況			
なし		1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	闰	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	同	70~
		89%を目安)			
	0	4. 概ね達成できた	(	闰	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- 一人一人の職員がキリスト教社会福祉の意義と慈愛園の歴史及びパウラス先生の思いについて学ぶことを通して、慈愛園職員としての自覚と責任を有して日々の福祉実践を行うために、朝礼時の聖書拝読と『くるみの実のなるころ』の輪読を継続できている。
- (2) 効率的で持続可能な施設経営と運営管理体制を整備する

数値目標		達成状況			
なし		1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	同	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	同	70~
		89%を目安)			
	0	4. 概ね達成できた	(	同	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- ① 人材確保が困難な状況の中で、福祉現場での実務経験がある 65 歳以上の非常勤支援員を 2 名確保することができた。
- ② 福祉人材の養成確保体制を強化するために、職員1名を社会福祉士実習指導者講習会に参加させ、実習受け入れ体制の強化を図った。
- ③ ICT を活用した効率的な情報共有と業務に係るエビデンスを収集する ために、Google による無料サービスをはじめ、オープンソースによる データベースやデータ分析ツールを積極的に活用するとともに、既存 データの確実な管理方法についても整備できつつある。
- ④ 熊本市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例第6 条に基づくサービスの質の評価を実施し、その結果については、全職 員と共有し、フィードバックを行い、課題の析出を行った。
- ⑤ なお、職員会議やケース会議等の各種会議の効率的かつ効果的な実施方法については引き続きの課題となっている。

### (3) 定員充足率 95%以上の確保

数値目標		達成状況			
あり		1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
	$\circ$	2. あまり達成できなかった	(	司	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	司	70~
		89%を目安)			
		4.概ね達成できた	(	司	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	司	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

① 2024 年度末における定員充足状況は 37 名 (92.5%) であり、目標値 の 95%には、1 名の不足により、達成できなかった。

#### (4) 施設内業務の分業化と多職種連携の徹底

数値目標		達成状況			
なし	$\circ$	1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	同	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	同	70~
		89%を目安)			
		4. 概ね達成できた	(	同	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- ① 将来に向けて相談員業務と支援員業務の分業化については、人員配置も視野に入れて、検討を行っているが、実現には至っておらず、下記事項についても具体的に取り組むことはできなかった。
  - ▶ 多職種連携を徹底する観点から、業務分掌の確認と業務実施状況の 振り返りと課題整理を年間で2回実施する。
    - ▶ 生活相談員による入居者全員に対する定期的な個別面接の実施 を実現し、ニーズ分類を行い、多職種連携による支援を実施する。

#### (5) 入居者同士のトラブルへの迅速な対応

数値目標		達成状況			
なし		1. 達成できなかった	(数值目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	同	50~
		69%を目安)			
		3. ある程度達成できた	(	同	70~
		89%を目安)			
	$\circ$	4. 概ね達成できた	(	同	90~
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

- ケアハウスにおいては、入居者同士の些細なトラブルや誤解がグループダイナミックスによって施設全体の雰囲気や安定性に重篤な影響を与えるリスクが大きいことから、これらに早期に対応するために朝礼時やケース会議での情報共有と支援の振り返りを行っている。このため、2024年度は入居者同士のトラブルは発生しなかった。
- (6) 家族、外部の関係機関や団体、地域住民との連携の強化

数値目標		達成状況			
なし		1. 達成できなかった	(数値目標	票の場合は目標達成率	概ね0~
		49%を目安)			
		2. あまり達成できなかった	(	同	50~
		69%を目安)			
	$\circ$	3. ある程度達成できた	(	同	70 <u>~</u>
		89%を目安)			
		4. 概ね達成できた	(	同	90∼
		99%を目安)			
		5. 達成できた	(	同	100%以
		上を目安)			

#### (具体的な取り組み状況)

① ケアハウス入居者をはじめ、家族や居宅サービス事業所その他の関係 者からの相談については、社会福祉士、精神保健福祉士有資格の生活 相談員を中心にソーシャルワークによる円滑な対応ができている。ま た、支援記録の内容を踏まえて、必要に応じて随時かつ迅速にそれぞれの専門職に対して、その役割に応じたフィードバックを行い、入居者が要介護状態になっても可能な限り施設での生活が継続できるように心身の状況変化に対する早期発見と早期対応に努め、家族その他の関係者との連携を図りつつ、入居者の自己選択と自己決定による外部の保健医療福祉サービスの活用を支援することができている。

② 地域の町内会や消防団等の構成員として地域社会への貢献活動を行った。

#### 3 サービスの実施状況 (2025 年 3 月 31 日現在)

#### (1) 入退所状況(表 3-1)

○ 2024 年度の入退所状況については、全体(合計)では在宅からの入所が6名であり、退所については、長期入院による退所が1名、他施設への移動による退所が4名、死亡による退所が1名の合計6名であった。

表 3-1 2024 年度入退所の状況

月		入戸	听者σ	)状況			退瓦	斤者の	状況			1日在籍	末日在籍
	在宅	病院	施設	その 他	二十二	長期入 院	他施 設	死亡	在宅	その 他	合計	数	数
4	1				1			1			1	38	37
5					0		1				1	37	36
6	1				1		1				1	37	36
7					0						0	36	36
8	1				1						0	37	37
9					0						0	37	37
10	1				1						0	38	38
11					0						0	38	38
12					0		1				1	38	37
1					0	1					1	37	36
2	1				1						0	37	37
3	1				1		1				1	38	37
合計	6	0	0	0	6	1	4	1	0	0	6	37.3	36.8

### (2) 入居者の状況 (表 3-2)

- ① 定員充足状況等
  - 2024 年度末の入居者の状況は、定員 40 名に対して 37 名であり、 定員充足率は 92.5%であった。

#### ② 基本属性

- 性別については、男性が7名(18.9%)、女性が30名(81.1%)となっており、男性よりも女性の入居者が多かった。
- 年齢については、男性の平均年齢が83.86歳(S.D.=9.25)、中央値が84.0、女性の平均年齢が86.90歳(S.D.=6.30)、中央値が87.0であり、男性よりも女性の年齢が高かった。

#### ③ 在所期間の状況

○ 在所期間については、男性の平均年数が8.71年(S.D.=9.38)、女性の平均年数が6.30年(S.D.=5.23)であり、女性よりも男性の在所期間が長かった。

#### ④ 要支援・要介護度の状況

- 要支援・要介護等の状況については、男性の認定無しが5名 (71.4%)、女性の認定無しが12名(40.0%)であった。
- また、要介護度等の状況については、男性は要介護 1 が 2 名 (100.0%)、女性については、最頻値が要支援 2 の 9 名 (50.0%) であった。

#### ⑤ 認知症の有無

○ 認知症の有無については、男性では認知症有りが2名(28.6%)、 女性では認知症有りが2名(6.7%)であった。

#### ⑥ 居宅サービス利用状況

○ 各種の居宅サービスの利用状況については、表 3-2 の通りであり、主に福祉用具貸与や訪問看護、デイサービスを利用していた。

表 3-2 入居者の状況 (2025年3月31日現在)

入居者数=37 (92.59	%)			
	Group	全体	男性	女性
n		37(100.0)	7(18.9)	30(81.1)
年齢	平均值(S.D.)	86.32 (6.90)	83.86 (9.25)	86.90 (6.30)
	最小値	66.0	66.0	75.0
	中央値	87.0	84.0	87.0
	最大値	99.0	95.0	99.0
在所年数	平均值(S.D.)	6.76 (6.13)	8.71 (9.38)	6.30 (5.23)
	最小値	0.0	0.0	0.0
	中央値	6.0	5.0	6.0
	最大値	28.0	28.0	16.0
要介護等(%)	認定無し	17 ( 45.9)	5 (71.4)	12 ( 40.0)
	要介護1	7 ( 35.0)	2 (100.0)	5 ( 27.8)
	要介護2	1 ( 5.0)	0 ( 0.0)	1 ( 5.6)
	要支援1	3 ( 15.0)	0 ( 0.0)	3 (16.7)
	要支援2	9 ( 45.0)	0 ( 0.0)	9 ( 50.0)
認知症有無(%)	認知症無し	31 (83.8)	5 (71.4)	26 ( 86.7)
	可能性有り	2 ( 5.4)	0 ( 0.0)	2 ( 6.7)
	認知症有り	4 ( 10.8)	2 ( 28.6)	2 ( 6.7)
福祉用具貸与(%)	利用無し	32 ( 86.5)	7 (100.0)	25 ( 83.3)
	利用有り	5 ( 13.5)	0 ( 0.0)	5 ( 16.7)
訪問介護 (%)	利用無し	28 ( 75.7)	6 (85.7)	22 ( 73.3)
	利用有り	9 ( 24.3)	1 (14.3)	8 ( 26.7)
デイサービス (%)	利用無し	30 (81.1)	6 (85.7)	24 ( 80.0)
	利用有り	7 ( 18.9)	1 ( 14.3)	6 ( 20.0)
デイケア (%)	利用無し	37 (100.0)	7 (100.0)	30 (100.0)
訪問看護 (%)	利用無し	35 ( 94.6)	7 (100.0)	28 ( 93.3)
	利用有り	2 ( 5.4)	0 ( 0.0)	2 ( 6.7)

## (3) 職員の状況(2025年3月31日現在)

- ① 職員の年齢分布 (表 3-3)
  - 当施設職員の年齢は、50代以上が9名中7名と半数以上を占めていることから、計画的な人事政策と定年退職を視野に入れた後進育成が課題となっている。

表 3-3 職員の年齢分布

就業形態	職種/年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
1.常勤	01.施設長				1			1
1.常勤	05.相談員		1					1
	07.支援員					1		2
	10.調理員				1			1
3.非常勤	07.支援員	1			1	1	1	3
	10.調理員				1			1
総計		1	1	0	4	2	1	9

## ① 職員の主要資格 (表 3-4)

○ 当施設の常勤職員5名のうち3名は、職種に応じた専門資格を有しているが、一方で非常勤支援員3名全てについては、無資格であることから、資格取得への動機付けとインセンティブが課題となっている。

表 3-4 職員の主要資格

20 1	一般只ジエ	<u> </u>						
就業形態	職種/資格	01.社会福祉士	03.介護福祉士	05.准看護師	07.管理栄養士	08.調理師免許	10.特になし	総計
1.常勤	01.施設長	1						1
1.常勤	05.相談員	1						1
	07.支援員		1				1	2
	10.調理員					1		1
3.非常勤	07.支援員						3	3
	10.調理員						1	1
総計		2	1	0	0	1	5	9

## 4 苦情対応の状況

- 2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日までの苦情受付件数は 2 件であり、全て対応し解決済みである。
- なお、その旨を 2025 年 3 月 24 日に開催された苦情解決第三者委員会 にて報告を行った。
- 5 主な行事
- 6 研修の実施状況
  - $\bigcirc$  2024 年度の主な園内行事及び研修の実施状況については、表 5-1 に示すとおりであった。

表 5-1 2024 年度 慈愛園老人ホーム・ケアハウス年間活動報告

月	日付	園内行事	老	ケ	研修会参加状況	参加者	老	_	実習・ボランティ ア・施設見学受入 れ	老	ケ
4	2024/04/01	辞令交付式	0	0							
	2024/04/08	ケース会議		0							
	2024/04/08	運営会議	0	0							
	2024/04/08	支援員会議	0								
	2024/04/11	施設長会	0	0							
	2024/04/15	職員会議	0	0							
	2024/04/15	ケース会議	0								
	2024/04/17	誕生会	0	0							
	2024/04/22	職場研修 個人情報保護 について	0	0							
	2024/04/01				慈愛園新人職員研 修①	宮本コ、 宮澤	0				
	2024/04/06				慈愛園新人職員研 修②	宮本コ、 宮澤、高 濱	0	0			
	2024/04/07				慈愛園新人職員研 修③	宮本コ、 宮澤、高 濱	0	0			
5	2024/05/09	ケース会議		0							
	2024/05/09	運営会議	0	0							
	2024/05/09	支援員会議	0								
	2024/05/10	施設長会	0	0							
	2024/05/13	職員会議	0	0							
	2024/05/13	ケース会議	0								
	2024/05/15	誕生会	0	$\bigcirc$							
	2024/05/27	職場研修 感染症(法定)	0	0							

,											
6	2024/06/03	ケース会議		0							
	2024/06/03	運営会議	0	$\circ$							
	2024/06/03	支援員会議	0	0							
	2024/06/06	施設長会	0	0							
	2024/06/10	職員会議(コロナ感染症感染拡大のため延期)	0	0							
	2024/06/10		0								
	2024/06/12	誕生会(コロ ナ感染症感染 拡大のため中 止)	0	0							
	2024/06/25	職場研修 虐待防止・身 体拘束(法定)7 月9日に変更	0	0							
	2024/06/16								松尾自動車ボラン ティア訪問(エア コン清掃)コロナ 感染症感染拡大の ため中止	0	0
	2024/06/20								福岡市南区役所 地域保健福祉課より施設見学(民生委員)	0	
	2024/06/09								神水教会学校花の 日訪問		0
	2024/06/07								神水幼稚園花の日 訪問	0	0
	2024/06/22				福祉の就職総合フェア・KKRホテル	潮谷力	0	0			
	2024/06/08	身体拘束適正 化委員会(鐘 ヶ江ソヨの身 体拘束につい て)	0								
7	2024/07/02	ケース会議		0							
	2024/07/03	運営会議	0	0							
	2024/07/03	支援員会議	0	0							
	2024/07/11	施設長会	0	0							
	2024/07/09	職員会議	0	0							
	2024/07/09	職場研修 虐待防止・身 体拘束(法定) ※6 月振替分	0	0							
	2024/07/24		0								
	2024/07/10	誕生会(コロ ナ感染症感染 拡大防止のた め中止)	0	0							
	2024/07/30	職場研修 BCP について	0	0							

i	2024/07/06	.º ウニッ # #				お公田					ı i
	2024/07/06	パウラス先生 記念会	0			潮谷園 長、牧、高濱					
	2024/07/08		0	0	古都憲一氏講演会 (法人研修)	潮谷 長道 松、 五	0	0			
	2024/07/09	納骨堂清掃	0	0							
	2024/07/15	召天者記念会 (慰霊祭)	0	0							
	2024/07/13				熊本学園大学ソーシャルワーク実習 指導者打ち合わせ 会	重松	0				
	2024/07/31	ケース会議 (8月)		0							
		運営会議(8 月)	0	0							
	2024/07/31	ケース会議 (8月)	0								
		支援員会議(8 月)	0								
8	2024/08/01	(7/31 実施)		0							
	2024/08/01	運営会議 (7/31 実施)	0	0							
	2024/08/01	(7/31 実施)	0	0							
	2024/08/08	施設長会	0	0							
	2024/08/07		$\circ$	0							
	2024/08/01	ケース会議 (7/31 実施)	0								
	2024/08/21		0	<u> </u>							
		職場研修(8 月休み)	0	0							
		消防設備点検	0								
	2024/08/23	消防設備点検		0					熊本学園大ソーシャルワーク実習 2名 名8月19日-9月20日まで	0	
	2024/08/23	非常用自家発 電機点検	0	0					介護等体験実習①3 名 8/19-8/23	0	
									介護等体験実習②4 名 8/26-8/30	0	
	2024/08/03								神水盆踊り	0	$\circ$
	2024/08/17								砂取夏祭り	0	$\circ$
	2024/08/07								水前寺公園交番連 絡協議会定例会 (早道)	0	
	2024/08/19				ルーテル社会福祉 協会総会 8/19- 8/20	潮谷カ		0			
	2024/08/25				るうてる法人会連 合オンライン研修	宮澤、高 濱	0	0			

9	2024/09/02	ケース会議	0								
	2024/09/02		0	0							
	2024/09/02		0								
	2024/09/12		0	0							
	2024/09/10		0	0							
			O								
	2024/09/03			0							
	2024/09/25		0	0							
		遊友小子老デー	0	0							
	2024/09/13	ほっとネット 砂取	0	0							
	2024/09/18	敬老お祝い会	0	0					介護等体験実③4 名 9/2-9/6	0	
	2024/09/30	職場研修(事故 防止)	0	0					介護等体験実④1 名 9/23-9/27	0	
	2024/09/18		0		県老施協生活相談 員研修	重松			出水南中ナイスト ライ 3 名 9/10- 9/13	0	
	2024/09/20								のべおか男女共同 参画会議21より 施設見学(佐々木 氏)	0	0
									ルーテル中福祉体 験実習 9/18-9/20	0	
	2024/09/30								くわみず病院病院 利用委員会(潮谷 園長)	0	0
	2024/09/27				慈愛園職員研修 (よりよい職場づ くり実践セミナ ー)	潮谷カ、 鍋内	0	0			
10	2024/10/01	ケース会議		0					介護等体験実 1 名 10/21-10/25(1 名)	0	
	2024/10/01	運営会議	0								
	2024/10/01	支援員会議	0								
	2024/10/10	施設長会	0	0							
	2024/10/01		0	0							
	2024/10/02			0							
	2024/10/16		0	0							
	, - 3, 10	職場研修(休み)	0	0							
	2024/10/16								韓国慶北道立大学社会福祉学部視察(24名)	0	0
	2024/10/25								ほっとネット砂取り臨時集会(潮谷か)	0	0
	2024/10/10				高齢者施設における虐待・ハラスメント防止研修会 (軽費・ケアハウス協議会研修会)	潮谷力		0		0	0
11	2024/11/05	ケース会議		0							

	2024/11/05	<b>運営会議</b>	0			1					i i
				0							
	2024/11/05		0								
	2024/11/14		0	0		L.					
	2024/11/11		0	0							
	2024/11/05		0								
	2024/11/13		0	0							
	2024/11/20	職場研修 感染症につい て	0	0							
	2024/11/17								松尾自動車ボラン ティア訪問(ケア ハウスクリスマス 飾り付け)		0
	2024/11/15								神水幼稚園収穫祭		0
	2024/11/10				津田塾大学学長講演会	早道、宮 本、牧、 宮本コ、 波佐間	0	0			
	2024/11/19				熊本県老人福祉施 設研究大会	西村、高 濱	0	0			
	2024/11/20				生活困難者レスキュー事業 CSW 初 任者研修会	鍋内	0				
	2024/11/21				全国老人福祉施設 大会・研究会議 (滋賀)	潮谷園長	0				
	2024/11/22				全国老人福祉施設 大会・研究会議 (滋賀)	潮谷園長	0				
	2024/11/23				社会福祉士実習指 導者講習会(~24 日)	早道、鍋 内、潮谷 カ	0	0			
	2024/11/25								城北高校調理実習 (1 名)~29 日	0	
	2024/11/30				到和会地域セミナ ー「アルコール依 存症を理解する」	早道、重松	0				
12	2024/12/01				熊本県地域リハビ リテーション支援 センター研修会	宮本ミ、 宮本コ、 真金	0				
	2024/12/02		0	0							
	2024/12/02	運営会議	0	0							
	2024/12/02	支援員会議	0								
	2024/12/12	施設長会	0	0							
	2024/12/23	職員会議	0	0							
	2024/12/12	慈愛園総合防 火訓練	0	0							
		ホームクリス マス	0	0							
	2024/12/11	誕生会	0	0							
	2024/12/23	職場研修 虐待防止、身 体拘束につい て	0	0							
										ı	

	2024/12/16	建物設備点検 (九州建物調 香)	0	0							
	2024/12/17	<u> </u>			令和6年度県老協 養護老人ホーム施 設長会議	潮谷園長	0				
	2024/12/13								ほっとネット砂取	0	0
	2024/12/20								ルーテル学院中ク リスマス訪問	0	0
1	2025/01/06	ケース会議	0	0		i.					
	2025/01/06	運営会議	0	0							
	2025/01/06	支援員会議	0								
	2025/01/09	施設長会	0	0							
	2025/01/14	職員会議	0	0							
	2025/01/15	誕生会	0	0							
	2025/01/19	貯水槽清掃 (本山設備)	0	0							
	2025/01/27	職場研修 虐待防止、身 体拘束につい て	0	0							
	2025/01/27	相談員会議	0								
	2025/01/28	ワックスがけ		0							
	2025/01/24				第2回慈愛園職員 研修(よりよい職 場づくり実践セミ ナー)	潮谷力、 鍋内	0	0			
	2025/01/26				学園大学社会福祉 学部ソーシャルワ ーク実習懇談会・ 打ち合わせ会	重松	0				
	2025/01/24								8町内自治会運営 委員会(早道)	0	0
	2025/01/27	職場研修 BCP について	0	0					泉ヶ丘校区民生委 員施設見学	0	
2	2025/02/03		$\circ$	0							
	2025/02/03	運営会議	0	0							
	2025/02/03	支援員会議	0								
	2025/02/13		0	0							
	2025/02/10	職員会議	0	0							
	2025/02/10	相談員会議	0	0							
	2025/02/12	誕生会	0	0							
	2025/02/25	職場研修 認知症につい て	0	0							
	2025/02/02	節分豆まき	0								
	2025/02/03	節分豆まき		0							
	2025/02/12				高齢者の人権についての研修(パウラス ホームにて)	高濱		0	熊本学園大ソーシャルワーク実習 2 名 2月 12日~ 2月 19日	0	
	2025/02/13	消防設備点検	0								
	2025/02/14	消防設備点検		0							

i		ı				i e					
3	2025/03/03	ケース会議	0	0							
	2025/03/03	運営会議	0	0							
	2025/03/03	支援員会議	0								
	2025/03/13	施設長会	0	0							
	2025/03/10	職員会議	0	0							
	2025/03/10	相談員会議	0	0							
	2025/03/12	誕生会	0	0							
	2025/03/24	職場研修 事故防止につ いて	0	0							
	2025/03/14								泉ヶ丘校区民生委 員講演(園長)	0	0
	2025/03/14								ほっとネット砂取	0	0
	2025/03/21				法人ハラスメント 研修	三島、早 道、宮本 ミ、潮谷 カ	0	0			
	2025/03/14										
	2025/03/21								8 町内運営委員会	0	0

## 7 施設整備等

○ 2024年度の主な施設整備・修繕(10万円以上)及び固定資産の取得については、表7-1に示すとおりであった。なお、2024年度固定資産の取得はなかった。

表 7-1 2024 年度施設整備・修繕(10 万円以上)

施設	日付	施設整備・修繕内容	金額(円)	備考
ケアハウス	2024/10/06	2階ロビーエアコン修理(テクノ A & E)	¥120,186	
	2025/02/19	給水ポンプチェック弁及びセンサー取替(本山 設備)	¥236,500	
	2025/03/21	ケアハウススプリンクラーポンプ制御盤修理 (綜合管理)	¥112,530	
合 計			¥469,216	

## パウラスホーム

#### |1 部門の取組の総括

パウラスホームでは、2024 年度はコロナの影響で自粛していたイベント活動を全面的に再開するとともに、職員の勤務環境や処遇改善を進め、職員一丸となって利用者のニーズにあったケアの提供に努めた。また、地域から必要とされる施設として生活困窮者の方への相談支援をはじめ、自治会や校区の行事にも積極的に参加・協力を行った。

こうした活動により、特養、ショートステイ、デイサービスともに前年を上回る稼働率、収入も確保できた。一方で、光熱費や修繕費等のコスト増や年度 後半の特養入所者の入院増による介護保険収入の減により、全体としては当初目標には達しなかった。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

- (1)事業の運営に関する実施状況と評価
  - ①介護報酬改定に適切に対応する
  - ②レクリエーション、地域活動に積極的に取組む
  - ③仕事の生産性を高める
  - ④地域ニーズへの対応
  - ⑤国際貢献と人材確保(外国人技能実習生の採用)

目標	実 績	評 価
①介護報酬改定への対応	①処遇改善加算Iを取得	
(処遇改善加算 I 取得)		
②レクリエーションの増	②ホーム3階、デイにピアノ整備	
	慈愛園サロン 13 回(前年 7 回)	3
③事務の IT 化	③IT 化は十分取組めていない	
時間外勤務の減	3月から一部ペーパーレス化	
	時間外勤務は年間で 770h 減	
④生活困窮者相談支援対応	④困窮者支援回数 8回(前年1回)	
介護予防支援事業所指定	介護予防事業所は 2025 年 6 月以降	
	に指定の目途がたった。	
⑤外国人技能実習生の採用	⑤2名(ミャンマー)の採用が決定	

### (2)組織の管理運営に関する実施状況と評価

- ①コロナ等感染症クラスターの発生を防ぐ
- ②チーム力を向上させる

目標	実 績	評価
①コロナ等感染症発生ゼロ	①特養→コロナ、インフル発生なし、	
	疥癬発生有り	
	デイ→コロナの集団感染あり	
②チーム力を向上させる	②業務マニュアルを改善中であるが	2
	十分とは言えない	
③類似事故等の再発防止	③再発事案減少 事故報告の検証・共	
	有、ヒヤリハット報告の徹底	

### (3)経営に関する実施状況と評価

特養、ショートステイ、デイサービスの平均稼働率及び、居宅介護事業所のケアプラン取扱件数は前年の実績を上回った。事業収入も4%(約 1500 万円)増加したが、年度当初目標は達成できていない。支出は、人件費の増(約 4%)の他、電気代の高騰、老朽化した設備修繕費等の事業費増で全体的に増加した。

目標	実 績	評 価
①平均稼働率	①平均稼働率	
特養 97%	特養 94.1%(前年 91%)	
ショートステイ 70%	ショートステイ 50.1%(49%)	
デイサービス 77%	デイサービス 68.7%(68%)	2
居宅 140 件/月	居宅 106件/月(93件)	
②支出(コスト)の削減	②人件費 8%增	
人件費、光熱費、修繕費	(時間外勤務は△20%)	
	光熱費 5.4% 増	
	修繕費 103.4%増	

### (4)重要な施設整備や機械導入等に関する実施状況と評価

- ①利用者、職員の安全に関する施設・設備整備等
- ②利用環境改善に関する整備

目標	実 績	評 価
①利用者、職員の安全に関する	①業務用車両の更新	
設備改修	老朽車両2台を廃車し電気自動車	
	1台、リース車1台導入	
	デイサービス浴室の改修	3
	4 階洗濯室の空調を整備	
②施設利用環境の改善	②1 階テラス改修	
	3 階居室改修(2 部屋)	

### 3 サービスの利用状況

- ①特別養護老人ホーム(定員64人)の各月の稼働率 年間の平均稼働率は94%と前年(91%)を上回った。 レクリエーション活動やイベントも増えてきている。入所施設は、待機者一 定程度あり、満床に近い状態であるが、2月以降、入院者が増加傾向にある。
- ②短期入所生活介護(ショートステイ 定員16人) 平均稼働率が50%と昨年とほぼ同じで、低迷している。 スタッフの確保等多角的に改善が必要。
- ③デイサービスセンター (定員30人) 平均稼働率は69%と前年68%を上回った。

レクリエーションも工夫して取り組んでおり、年度後半から利用者の増加傾向が見られたが、3月に利用者様、職員にコロナの感染が拡大し一定期間休業した。再開後は従来の感染対策を検証し改善実施中。

サービス毎の月別稼働率(利用者数/定員数×100)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
①特養 (64)	93	96	93	95	95	94	92	94	98	99	90	91	94%
②短期 (16)	51	62	54	35	53	53	44	56	54	49	49	48	50%
③デイ (30)	70	70	70	70	73	73	70	77	70	73	73	47	69%

#### ④居宅介護支援事業所

令和6年度のケアプラン取扱件数(給付管理表提出数)は介護プランが 941件(前年874件)、予防プランが337件(前年250件)を上回っている。 この他、地域の方からの相談も多く受けている。

ケアプランの月別取扱い件数								(名)					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
①介護	80	83	84	81	83	80	80	76	72	74	70	78	941
②予防	22	25	28	27	27	30	29	26	29	30	27	37	337

### 4 苦情対応の状況

- ・ 苦情解決委員会開催日 2025年3月24日 老人ホーム、ケアハウスと同時開催。委員の方との意見交換も行った。
- ・ 年間の苦情件数(対応済みの件数)パウラスホーム(特養) 1件(1件)

苦情の内容	対応状況
ナースコールで職員を呼んだが、職員	利用者様に状況を説明。改善する。
がなかなか来ない。	職員にも個別に指導。

### 5 主な行事の実施状況

月	主な行事	
4 月	フラワーセラピー 慈愛園サロン(毎月第4木曜)	
5 月	歌遊びの会 端午の節句(食事)	
6月	バルーンアート 夏至(薬膳料理)	
7月	インターンシップ受入れ 七夕	
8月	パウラス夏祭り 砂取校区夏祭り	
9月	敬老祝会	
10 月	慈愛園ナイトサロン(カフェ) アニマルセラピー	
11月	パウラス秋の文化週間 腹話術	
12 月	クリスマス会 忘年会 防火訓練 年越しそば	

1月	正月料理
2月	節分
3 月	花見ドライブ、テラス食事会、デイサービス開所記念イベント

## 6 研修の実施状況

( ) は講師

月	研修実施状況
4月	コロナウイルス感染症対策(職員)
5 月	高齢者の虐待と不適切なケアについて(職員)
	ハラスメントについて(職員)
6月	福祉施設における食中毒対策(外部講師)
	特養視察研修(山鹿市)
	モードパウラス先生の思い出(外部講師)*慈愛園サロン
7月	特別養護老人ホームの BCP(業務継続計画)(職員)
	交通安全と事故防止 (職員)
8月	認知症ケアについて(職員)
	熱中症「ゼロ」を目指して(職員)
9月	防火対策研修(職員)
	身体拘束について(職員)
10 月	口腔ケアと栄養、誤嚥性肺炎への取組(職員)
11月	交通安全研修(職員)
	県老施協研究大会(テルサ)参加
	特養視察研修(熊本市内)
	介護施設でのプライバシー保護と個人情報の取扱い(職員)
12 月	介護事故防止研修(職員)
	防火研修・避難訓練(外部講師)
1月	BCP(業務継続計画)研修・訓練
	夜間想定避難訓練(職員)
2 月	高齢者の人権、アンガーマネジメント (外部講師)
	特養視察研修(高森町)
	看取りについて(職員)
3月	生産性向上に関する研修

## 7 施設整備等

完成時期 (月)	内容	価格
9月	電気自動車(日産サク	¥ 2,978,000
	ラ)購入	
	日本財団等補助	
3月	ショートステイ居室の	¥ 3,450,000
	プライバシー保護のパ	
	ーテーション等設置	
	(4床分)	
	地域医療介護基金活用	

## 8 その他 地域支援活動など

月	主な内容
4月	
5月	砂取校区社会福祉協議会総会
6月	第 146 回ほっとネット砂取 ミャンマー実習生 WEB 面接
7 月	TKU 親子体験バスツアー受入れ
8月	砂取夏祭り
9月	第 147 回ほっとネット砂取
10 月	韓国慶北道立大学視察受入れ
11月	ふれあい昼食会
12 月	よか正月おせち宅配便
	第 148 回ほっとネット砂取
1月	江津湖野鳥の森、市との会合 砂取校区スポーツ大会
2月	
3月	第 34 回独身者ひなまつり
	第 149 回ほっとネット砂取

## シオン園

#### 1 部門の取組の総括

2024年度は、「明るい笑顔、温かい言葉」、「児童と一緒に楽しみ、一緒に成長する」、「組織形成「報告・連絡・相談・確認」を目標に掲げ活動した。

「明るい笑顔、温かい言葉」は、園全体で心掛け、いつも笑顔で温かい言葉かけが出来た。「児童と一緒に楽しみ、一緒に成長する」については、児童ばかりではなく職員も常に成長する意識をもって取り組むことが出来た。「報告・連絡・相談・確認」については、徐々にではあるが浸透してきた。

児童養護施設については、新たに本体分園型ホーム1棟の増により、すべて6人以下のホーム体制が構築できた。また、児童と職員との関係性も構築できており、児童の声がより反映された施設づくりに努めた。

児家センを中心とした地域支援については、制度改正に職員を増加すると共 に、助成金を活用した食支援の継続も実施でき、地域支援に努めることが出来た。 また、学童クラブにおいても地域ニーズを汲み取った運営を行った。

収支についても、今年度も増益となり積立金を増額することが出来た。今後も収支のバランスを確認するとともに、約20年が経過する本体ホームの維持を改修しつつ更なる安定運営に努めていきたい。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

#### (1) 分園型小規模グループケアへの移行

分園型小規模グループケアへの移行については、分園化委員会(運営委員会)において常時協議し、場所の選定及び設計についても職員の意見を十分取り入れたものになり、小規模施設加算の基準である各ホームの定員を全て6人以下とし、本体定員30人を維持することが出来た。また、予算についても県と協議し賃貸形式を取入れ措置費対応や、物品等の購入についても助成金を活用し費用も最低限に抑制することが出来た。

目標	実績	評 価
①分園型小規模グループケアへの移	①2025 年 4 月より運営開始	5
行		

#### (2) 職員の確保

① 人材の確保面については、2024年4月2日以降の入職者は12人(正職7人、非常勤3人、管理宿直2名)に対し、退職者6人(正職員5人、非常勤1人)となり、6人の増員となった。

正職員の入職者については、シオン園で実習経験のある新卒 2 人をはじめ、中途採用の 5 人についても他の福祉施設での実務の経験があり即戦力としての人材が確保できた。退職者についても実家での仕事などや年齢による退職者が多かった。今後も人材の確保には注力し安定した施設運営につなげたい。

方法としては、広報委員会は年 2 回の機関誌や毎月のホームページ更新により地域等への広報活動を、行事委員会はボランティアのケアや地域の行事参加や協力活動等を充実させ、両委員会の取り組みが開かれた施設のイメージにより入職者や寄附や寄贈品の増加を促進した。

目標	実績	評価
①新規採用 3 人(正職)	①新規採用7人(正職)	5

#### (3) 報告・連絡・相談・確認の徹底

- ① 新入職員等に、法人や事業所の関係規則等について、周知徹底するための 勉強会を職員が講師となり、毎月実施した。内容についてはシオン園の歴史、 措置費、就業規則及び各種職務の内容など児童養護施設や児童家庭支援セ ンターの業務などを中心とし勉強会を開催した。
- ② 職員の記録ソフト(業務日誌)についは、現在の情報共有ソフトに追加導入し、会議や出張、研修の復命等についてもソフトで活用できるようになった。一方、職員間での活用の差があり、全員が徹底するには、もうしばらくかかると思われる。
- ③ 主任制導入により、他主任等と連携して職員への助言や支援によって組織としての機能が円滑になった。

目標	実 績	評価
①新入職員等の勉強会	①毎月、実施済	
②情報共有(記録)ソフト	②2024年4月導入済	5
③主任等の任命	③7 人を主任に任命	

#### (4) 充足率等の確保

① 3 事業所の充足率については、養護では目標 90.0%に対し 88.7%と目標 達成は出来なかったが、加算基準の 85.7%は超えることが出来た。2024 度 の入所者は 13 人、退所者は 18 人と入れ替えの激しい年であった。

- ② 児家センでは 120 件/月を目標にスタートしたが、4 月に入り不登校は SSW や SC、発達障がいは医療機関や療育機関、虐待関係は児童家庭支援センターでの対応と協議したため 78.3%と低くなった。5 月には 2 人の職員が入職し、指導委託件数も増加した。
- ③ 学童保育については、夏休みを過ぎたころから家での留守番体験等のために減少したが目標の95%を確保することが出来た。
- ④ 毎月の充足率等や収支については、運営委員会等で提示し、職員と共有することはできた。また、充足率については、職員会議において全職員と共有することが出来た。

目標 実績 :	評 価
①3 事業所の充足率を確保し、財政基盤 ①・シオン園 88.5%	
の安定を図る。 ・キッズ 78.3 件	
・シオン園 (目標 90.0%) ・学童 97.0%	
・キッズ (120 件/月)	4
・学童 (n 95.0%)	
②充足率等や収支について共有する ②毎月共有した	

#### (5) 予算作成

① 予算については、各部署より事業・行事計画等に伴う要求及び主任等の 査定方式をとり作成したため、コスト意識は図れたが、全職員への周知ま でには至らなかった部分もあった。

 目 標	実績	評 価
①職員からの積上げ方式による予算作	①要求・査定としての形は出来	
成	つつあるが、全職員までには	4
	至らず	

#### (6) 本体施設の LED 化

① 本体施設については LED 化が全く進んでいないため、光熱水費の抑制等を含め検討し5月に本体ホーム棟 LED 工事を実施した。(荒尾市の補助金については、より割高になるため活用にはいたらなかった)。

目 標	実 績	評 価
①本体施設の LED 化を行う。	①5 月に LED 化工事が完了した。	5

### (7) 共同支援計画作成

① 小学生以上の子ども自身が職員と一緒に自立支援計画を作成するケースは、ほぼ全員と出来た。当初目標として掲げた、施設長自らが子どもと面談し確認するまでには至らなかった。

目 標	実 績	評 価
①小学生以上の子供自身が職 員と一緒に自立支援計画を	①小学生以上の子ども全員が自立支援 計画を作成した。、	5
作成する		-

#### 3 サービスの利用状況

### (1) 児童養護施設シオン園

入所者数 13人 退所者数 19人

2024年度は退所児童が多く、前年度よりも充足率が下がった。

退所児童については、兄弟ケースが多かったことも背景として考えられるが、 退所児童のうち、家庭復帰ケースにおいては入所から3年以内を一つの目安と して計画を立てていたことも要因として考えられる。

入所児童については、定員の空きが複数枠あることで兄弟での受け入れがしやすい環境(13 人中8人が兄弟ケース)が作られている。その結果、入所児童数入所世帯数が減り、より支援のしやすさへと繋がっているように考えられる。

#### 【月別充足率の推移】

(毎月初日の人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	年度計
児童数 (人)	39	37	36	37	39	39	39	36	34	34	36	40	446
充足率 (%)	92.9	88.1	85.7	88.1	92.9	92.9	92.9	85.7	81.0	81.0	85.7	95.2	88.5

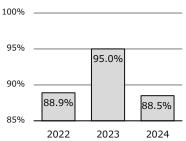
【過去3年間の月別充足率の推移】

 100%
 2…

 90%
 2022

 70%
 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

【過去3年間の平均充足率】



### (2) 児童家庭支援センター キッズ・ケア・センター

2023 年度は相談延べ件数(指導委託を含まない)が 1555 件であり、現行の人数では支援が十分にできていない現状があった。そのため、2024 年度は会議等で虐待ケースを主に対応すると説明し、不登校は SSW や SC、発達障がいは医療機関や療育機関にできるだけお願いした。その結果、延べ件数は下がっているが1つ1つのケースを手厚く支援することができた。指導委託に関しては、県内の児家センで 1 番委託数が多く、引き続き来年度も月10件を超えるケースを安定して受け入れられることを目指したい。

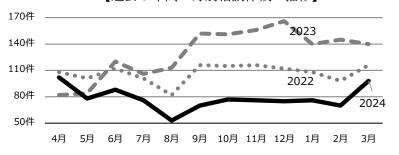
#### 【月別相談件数の推移】

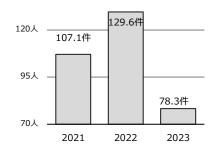
(毎月の延相談件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	年度計
相談 件数	102	78	88	76	53	70	77	76	75	76	70	98	939

【過去3年間の月別相談件数の推移】

【過去3年間の月平均相談数】



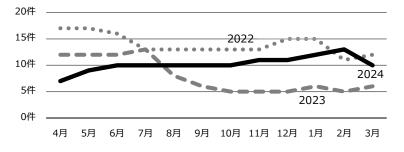


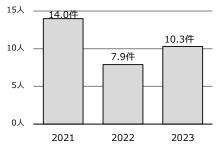
指導委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月	年度計
20	022	17	17	16	13	13	13	13	13	15	15	11	12	168
20	023	12	12	12	13	8	6	5	5	5	6	5	6	95
20	024	7	9	10	10	10	10	10	11	11	12	13	10	123

【過去3年間の月別委託件数の推移】

【過去3年間の月平均委託件数】





#### (3) 学童保育 荒尾中央学童クラブ

学童保育については、例年夏休み以降に主に 3 年生以上の児童がお留守番の練習との理由で退会されるケースが増加する。以前より 3 年生以上の児童が 1・2 年生の利用増加に伴い入会が困難な時期が続いていたため、早期の慣らしお留守番が始まったと考える。また、小学校の児童数が減少しているとはいえ、学校周辺には戸建の家が増加傾向にあり地域での学童のニーズは高いものと思われる。

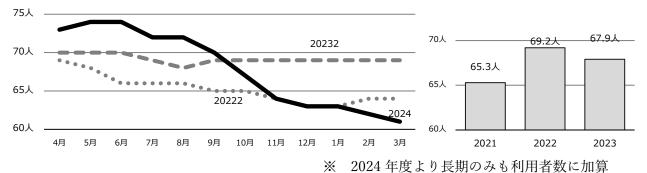
#### 【月別利用者の推移】

(毎月初日の人数)

_		_											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3月	年度計
利用 者数	73	74	74	72	72	70	67	64	63	63	62	61	815
充足率	104	106	106	103	103	100	96	91	90.0	90.0	89	97	97

#### 【月別利用者の推移】

【月別利用者の推移】



(待機児童数の推移)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3月
2023						3	3	3	3	3	3	3
2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 4 苦情対応の状況

- (1) 苦情解決委員会開催日
  - ・2024年10月30日(水)
  - ・2025 月 2 月 25 日(火)
- (2) 年間の苦情件数(対応済みの件数)(子どもから)
  - ・2件(2件)

## (3) 主な苦情内容と対応状況

主な苦情の内容	対応状況
① ホーム児童の移動をし	①に対して苦情受付委員が対応中に、同じ児
てもらいたい	童から②の要望が出る。「ゆっくり話せる人と話
② ホーム児童から、嫌なことを言われる	したい」という希望もあり、ホーム職員が個別に時間を設け、話を聴く。ホーム児童の移動以外の解決方法(イヤなことをされたときは職員が注意する)を確認し、終結。

# 5 主な行事の実施状況

月	主な行事
4月	入学祝式、招待フライト(熊本-高知2人)参加、野球観戦招待
	熊本県劇 TapDo 見学
5月	卒園生主催子ども祭り参加、運動会
6月	荒尾市健康福祉祭参加
7月	ホーム活動(大分うみたまご、熊本エミナース)、荒尾教会コンサート
	グリーンランド花火大会招待、ボウリング招待、阿蘇青少年交流の家宿泊
8月	ホーム活動(キャンプ)、荒尾中央区納涼祭参加、卒業生の集い
9月	荒尾タクシー招待旅行(柳川、熊本城)
10 月	親善バトミントン大会
11月	グリーンランド招待、みかん狩り、劇団カタツムリ観劇
12 月	海苔摘み体験、ホームクリスマス、餅つき・卒業生の集い
1月	新年の集い、サクソファン四重演奏会、
2月	
3月	卒業祝い式、花見 BBQ
毎月	教会学校、茶道教室、生花教室、折り紙教室、ヨーヨー教室
不定期	SBI 英会話教室

## 6 研修の実施状況

月	研修実施状況
4月	法人新入職員研修 施設紹介
5月	IPI 総合的心理療法倫理講座(~3月.年6回)
6月	九養協ブロック研修、小児性愛の動向と対応、職員 CAP 研修
7 月	赤ちゃんポスト内密出産シンポジウム、保育事業所管理者セミナー 九州里親研究大会、九養協療育・権利擁護セミナー
8月	慈愛園全体研修、ルーテル社会福祉協会総会、アドボカシー学会

	るうてる法人会連合研修
9月	西日本ブロック研修、四施設合同研修
	法人より良い職場づくり実践セミナー
10 月	職員 CAP 研修、児童虐待への対応の基本研修
	全国児童養護施設長研究協議会、職場ハラスメント研修①
11月	職場ハラスメント研修②、生活困窮者レスキュー事業研修会
12 月	ファミリーソーシャルワーク研修会、社会的養護児童福祉施設長研修会
1月	子どもアドボカシー活動について、法人より良い職場づくり実践セミナー
2月	子どもの心の発達過程講演会
3 月	ライフストーリーワーク研修、法人ハラスメント研修

## 7 施設整備等

完成時期(月)	内 容	価 格
5 月	本体ホーム棟 LED 工事	2,078,696 円

## 熊本ライトハウス

#### 1 部門の取組の総括

2024年度は新型コロナウイルス感染症の猛威も小康状態となり、コロナ禍前の状態に戻りつつあったが、同じ敷地内にあるのぞみホームでは2度のクラスターが発生するなど、まだまだ予断を許さない状況が続いている。そのような中、感染症対策については細心の注意を払いながら、施設の三大行事である夏祭り、バザー、クリスマス会を盛大に開催することが出来たことは、子供たちにとっても大きな喜びとなった。

熊本市の第3期障がい児福祉計画も3年計画の1年目であり、施設としても目標達成に向け、様々な取組みを行った。計画の基本理念の中で掲げてある意思決定の尊重や意思決定の支援については、児童の声をしっかり聴くことに心がけた。特に毎月1回以上開催した子どもたちだけの会議であるホーム会議を継続して開催し、子どもの意見が十分反映出来るように配慮した。

職場環境については、労務管理の徹底、休暇取得の促進を行い、職員の心身の健康管理を奨励した。また全職員に対し行った施設長面談や、職員をランダムにグループに分けて茶話会を開催し、仕事上の悩みを話し合ったりする機会を作るなど、風通しの良い職場づくりに努めた。結果的に 1 年以上勤続している職員の離職者は 0 人であった。

職員への基本理念、方針、また諸規則の理解度について、不十分な点が多く、次年度へ向けた大きな課題であり、2025年度の重点目標として盛り込んだ。加えて慈愛園で働く誇りと自覚の認識についても、2024年度の反省点として、今後取り組んでいく。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

- (1) 事業の運営に関する実施状況と評価
- ・リーダー会を中心として将来的な展望を視野に入れながら検討を行ったが、 地域移行、障がい特性の変化等しっかり考える必要があり、中長期計画の策定 には至らなかった。検討することでそれぞれの職員がこれからの方向性をし っかりと考える機会となり、熊本市の第3期障がい児福祉計画をベースにし て、2025年度は作成を行いたい。
- ・子どもアドボカシーについては、ホーム会議、子どもに対する面接を増やし、 子供たちの意見の吸収を今まで以上に行うことが出来た。

目標	実 績	評 価
①中長期計画検討委員会を立ち	①中長期計画の検討を行ったが、計	
上げ、検討、計画の策定、職	画書の策定までには至っていな	
員全員が周知した状況にする	<i>γ</i> , γ	
②法改正、報酬改定の内容に沿	②法改正や報酬改定に沿った状態に	3
った状態にする。	した。	
③ホーム会議を月1回以上開催	③ホーム会議については月1回以上	
し、子どもの意見が十分反映	開催した。施設長による児童に対	
出来るように配慮する。	する面接も実施した。	

### (2) 組織の管理運営に関する実施状況と評価

- ・異動等による新体制については、根本的な組織構造の見直しや職員会議の やり方、職員それぞれのモチベーションの持ち方により、概ね良いスタート を切ることが出来た。しかしながら、理念や方針の浸透が出来ておらず、次 年度への課題を残した。
- ・労務管理については、年2回の施設長面接、全体会議を通しての意識づけにより職員自らが意識を持って取り組むことが出来、職場環境も概ね良好な状態を保つことが出来た。
- ・自己研鑽については、外部研修、内部研修ともに積極的に参加を行ったが、目標としていたサポーターズカレッジ 100% 受講については、達成することが出来なかった。受講については、全員が出来るよう施設全体でやり方方法を考えていきたい。

目標	実 績	評 価
①ハラスメント等がない職場環	①施設長面談を年2回程度全職員に実	
境の状態にする。	施し、職場環境の問題点を各職員か	
	ら聞き出すことが出来た。	
②必須項目のサポーターズカレ	②全職 100%受講は出来なかった。	
ッジの 100%受講。		
③休暇取得の促進を行う。	③年休取得状況も概ね良好であった。	3
④年間を通して適正な労働時間	④時間管理の徹底、時間外労働事前申	
管理の促進を行う。	請について、意識を持って取り組む	
	ことが出来た。	
⑤基本理念や就業規則等諸規則	⑤施設基本方針等、浸透するまでに至	
について研修、全体会議での	っていない。	
周知を行う。		
⑥新体制での早期稼働が出来る	⑥新体制での稼働はスムーズに移行	
状態にする。	することが出来た。	

#### (3) 経営に関する実施状況と評価

- ・全職員が施設の財務状況を周知することを目標に、各会議において状況報告を行った。
- ・水道光熱費についての節約の意識づけは行ったが、世情の物価高騰のあおりを受け、厳しい状況であった。しかし、職員全体での経営基盤に対する意識の変化がみられるようになったことは、評価できる。

目標	実 績	評価
①財務状況について職員に周知	①全体会議、各種職員会議、リーダ	
する。	ー会議等で周知を行った。	3
②年間の光熱水費を前年度比 1	②水光熱費等は物価上昇につき、目	
割以上削減する。	標達成は出来なかった。	

#### (4) 重要な施設整備や機械導入等に関する実施状況と評価

- ・大きな施設整備は行っていないが必要箇所への防犯カメラの設置、老朽化 による破損個所等の修理など、迅速に対応した。
- ・ICT化については、職員がリーダー会等で意見を出し合い、計画を行っており、2025年度以降の実現を目指したい。

目標	実 績	評 価
①早急な対応が必要な個所の整	①必要箇所の整備は都度行った	
備を行う。		3
②ICT化の推進を行う	②進展がなかった。	

#### (5) その他

- ・地域交流については、従前から行ってきた月1回の「ふれあいランチ」の継続開催を行っており、地域の方に大変喜ばれる行事となっている。またバザー、 夏祭り等、クリスマス会も盛大に行うことが出来た。また、民政委員の会議へ 施設長が参加し、ライトハウスをアピールすることが出来た。
- ・入所者の聾学校高等部 1 年女児が、聾学校の手話落語部のメンバーとして 全国大会に出場し、優勝を果たした。ライトハウスではお祝い会を開催し、ま た女児は熊本県知事の表敬を受けるなど、うれしい出来事があった。
- ・施設内で性問題が発生した。毎月の性教育は行っているが、限界があり、外 部の講師や学校、児相との連携の強化を今後深めていきたい。
- ・事例検討会については、職員会議等の中で多くの時間を割いておこなっている。特性の多様化による対応方法について更なる研鑽が必要である。
- ・BCP計画については、リスクマネジメント委員会を中心に、全職員が理解

するよう会議等での周知をはかった。またそれを踏まえ、都度内容の見直しも 行った。

・さんさんの利用については、月1回程度食育活動で使用した。今後は、法人内施設との交流等についてもさんさん利用の中で検討したい。

目標	実 績	評価
①地域との交流事業の継続、新	①地域で参加できる行事には積極的	
規活動への参加を行う。	に参加した。	
②性教育の問題について職員全	②性教育は重点的に取り組んだが、	
体で取り組みの強化を行う。	問題事案も発生した。	4
③個別支援の具体的取組、報	③職員会議の中で、事例検討等を行	
告、事例検討会の月1回以上	った。	
の実施。		
④感染症、災害時の災害時の B	④ B C P の内容を再検討し、見直し	
CPの見直し、実践を行う。	を行った。	
⑤虐待、身体拘束(特別な理由	⑤虐待、身体拘束(止むを得ない場	
を除く)0 運動。	合を除く)の事案はなかった。	
⑥「さんさん」の利用計画を作	⑥食育等を月1回程度計画し、「さん	
成し、実行する。	さん」を利用した。	

## 3 サービスの利用状況

- (1) 措置・契約
- ◇ 措置・契約児童の利用日数

2023 年 4 月 1 日には現員 17 名 (定員 20 名) からのスタートであったが、2024 年 3 月末時点で 18 名となっている。

	措置・契約の月別利用延べ人数						(	)数等	字は前年	年度	※稼	働率	%
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	合計
措	292	324	324	326	288	360	372	358	353	352	347	351	4047
置	(289)	(303)	(294)	(303)	(283)	(289)	(287)	(296)	(285)	(282)	(276)	(292)	(3479)
契	176	214	227	185	82	212	234	229	192	200	219	168	2338
約	(178)	(204)	(221)	(171)	(60)	(192)	(222)	(223)	(193)	(181)	(211)	(175)	(2231)
計	468	538	551	511	370	572	606	587	545	552	566	519	6385
*	78	87	92	89	60	95	98	98	91	89	98	86	87

- (2) 短期入所・日中一時支援
- ◇ 短期・日中一時支援の利用日数 利用人数はほぼ平年並み。コロナの影響もあり依頼も少なかった。

短期入所・日中一時の月別利用延べ人数 ( )数字は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日	13	15	19	9	0	19	18	6	11	12	14	8	144
中	(6)	(17)	(15)	(6)	(0)	(13)	(19)	(17)	(12)	(12)	(17)	(16)	(150)
短	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

## 4 苦情対応の状況

- (1) 苦情解決委員会開催日
  - ・ 2024年9月27日
  - ・ 2025年3月17日
- (2) 年間の苦情件数 (対応済みの件数)
  - 2 件(2件)
- (3) 主な苦情内容と対応状況

主な苦情の内容	対応状況
・ライトハウス内での性問題について、ご家	・この件については、学校等を含め十分な
族より事実確認等あった。	話し合いを行い、対応をおこなった。
・保護者から、子供の悪口を言っているとの	・事実確認を行い、保護者に謝罪。十分な
苦情あり。	配慮の申し入れがあり、受け入れた。保護
	者は納得された。

## 5 主な行事の実施状況

#### • 行事

月	主な行事
4月	花見 養協野球大会
5月	バーベキュー
6月	スポーツ大会
7月	地域夏祭り
8月	一泊旅行(鹿児島) バーベキュー

9月	クラシック鑑賞 (松橋)
10 月	スポーツ大会
11月	バザー 教会フェスティバル 子供会廃品回収
12月	泉ヶ丘地域スポーツ交流 クリスマス 日帰り旅行
1月	新年お出かけ(イオン) 手話落語甲子園お祝い会
2月	お別れ会
3月	子供わくわくアートフェスティバル

## 6 主な研修の実施状況

月	研修実施状況
4月	· 新任職員研修研修(施設内)
5 月	
6月	・自閉スペクトラム症及び発達障害の特性について ・子どもの権利擁護
	研修 ・県知障人権研修会
7月	・衛生講話 ・虐待防止研修 ・養協機関連携研修 ・強度行動障害支援
	者養成研修
8月	
9月	・今後の障がい児施設の在り方、個別化の支援 ・より良い職場づくり実
	践セミナー
10 月	・養協新任職員現員研修 ・発達障害のある子どもの食事の配慮
	・養協ケースワーカー部会「生と性について」
11月	・サビ管、児発管連絡協議会全体研修
12 月	・性教育研修会「スマホ時代の子供~性問題行動を含めた昨今の子供が抱
	える問題の理解と対応」
1月	・子供アドボカシー研修会 ・発達障害を抱える子供への対応について
2 月	・子供の心の発達過程・児童思春期病棟で心掛けている子供との関わり方
	についての講演会
3月	

## 7 施設整備等

特になし

### 能本ライトハウスのぞみホーム

#### 1 部門の取組の総括

2024年度は、コロナウイルス感染症の猛威も収まったかに見えたが、のぞみホームでは2度のクラスターが発生し、入所者や職員の多くがその対応に追われる事態となった。1名の感染からの拡散であり、まだまだ予防対策には予断を許さない状況が続いている。そのような中、コロナ禍に比べ、外出、外泊の自由度は増し、施設の三大行事である夏祭り、バザー、クリスマス会を盛大に開催することが出来たことは、入所者にとっても大きな喜びとなった。

熊本市の第7期障がい福祉計画も3年計画の1年目であり、施設としても目標達成に向け、様々な取組みを行った。計画の基本理念の中で掲げてある意思決定の尊重や意思決定の支援については、利用者の声をしっかり聴くことに心がけた。初めての試みとして、利用者と施設長の面談は、利用者の様々な意見を聞くことが出来、大きな成果であった。

職場環境については、労務管理の徹底、休暇取得の促進を行い、職員の心身の健康管理を奨励した。また全職員に対し行った施設長面談や、職員をランダムにグループに分けて茶話会を開催し、仕事上の悩みを話し合ったりする機会を作るなど、風通しの良い職場づくりに努めた。結果的に 1 年以上勤続している職員の離職者は 0 人であった。

職員への基本理念、方針、また諸規則の理解度について、不十分な点が多く、次年度へ向けた大きな課題であり、2025年度の重点目標として盛り込んだ。加えて慈愛園で働く誇りと自覚の認識についても、2024年度の反省点として、今後取り組んでいく。

#### |2 主な取組の実施状況と評価

- (1) 事業の運営に関する実施状況と評価
- ・リーダー会を中心として長期的な検討をおこなったが、地域移行、障がいと特性の変化等しっかり考える必要があり、中長期計画の策定には至らなかった。検討することでそれぞれの職員がこれからの方向性をしっかりと考える機会となり、熊本市の第7期障がい児福祉計画をベースにして、2025年度は作成を行いたい。
- ・利用者の生涯の程度(ダウン症、高齢者等)に合わせてグループを3つに分け、検討課題に応じたグループ会議を月に1回以上開催することが出来た。

目標	実 績	評 価
①中長期計画検討委員会を立ち	①中長期計画の検討を行ったが、計	
上げ、検討、計画の策定、職	画書の策定までには至っていな	
員全員が周知した状況にする。	V 2 °	
②法改正、報酬改定の内容に沿	②法改正や報酬改定に沿った状態に	3
った状態にする。	した。	
③月1回以上のグループ会議を	③グループ会議については月1回以	
開催し、その状況を全員で共	上開催した。	
有、適切な支援を行う。		

#### (2) 組織の管理運営に関する実施状況と評価

- ・異動等による新体制については、根本的な組織構造の見直しや職員会議の やり方、職員それぞれのモチベーションの持ち方により、概ね良いスタート を切ることが出来た。しかしながら、理念や方針の浸透が出来ておらず、次 年度への課題を残した。
- ・労務管理については、年2回の施設長面接、全体会議を通しての意識づけにより職員自らが意識を持って取り組むことが出来、職場環境も概ね良好な状態を保つことが出来た。
- ・自己研鑽については、外部研修、内部研修ともに積極的に参加を行ったが、目標としていたサポーターズカレッジ 100% 受講については、達成することが出来なかった。受講については、全員が出来るよう施設全体でやり方方法を考えていきたい。

目標	実 績	評価
①ハラスメント等がない職場環	①施設長面談を年2回程度全職員に	
境の状態にする。	実施し、職場環境の問題点を各職	
	員から聞き出すことが出来た。	
②必須項目のサポーターズカレ	②全職 100%受講は出来なかった。	3
ッジの 100%受講。		
③休暇取得の促進を行う。	③年休取得状況も概ね良好であっ	
	た。	
④年間を通して適正な労働時間	④時間管理の徹底、時間外労働事前	
管理の促進を行う。	申請について、意識を持って取り	
	組むことが出来た。	
⑤基本理念や就業規則等諸規則	⑤施設基本方針等、浸透するまでに	
について研修、全体会議での	至っていない。	
周知を行う。		
⑥新体制での早期稼働が出来る	⑥新体制での稼働はスムーズに移行	
状態にする。	することが出来た。	

#### (3) 経営に関する実施状況と評価

- ・全職員が施設の財務状況を周知することを目標に、各会議において状況報告を行った。
- ・水道光熱費についての節約の意識づけは行ったが、世情の物価高騰のあおりを受け、厳しい状況であった。しかし、職員全体での経営基盤に対する意識の変化がみられるようになったことは、評価できる。

目標	実 績	評 価
①財務状況について職員に周知	①全体会議、各種職員会議、リーダ	
する。	ー会議等で周知を行った。	3
②年間の光熱水費を前年度比 1	②水光熱費等は物価上昇につき、目	
割以上削減する。	標達成は出来なかった。	

#### (4) 重要な施設整備や機械導入等に関する実施状況と評価

- ・大きな施設整備は行っていないが必要箇所への防犯カメラの設置、老朽化 による破損個所等の修理など、迅速に対応した。
- ・ICT化については、職員がリーダー会等で意見を出し合い、計画を行っており、2025年度以降の実現を目指したい。

目標	実 績	評 価
①早急な対応が必要な個所の整	①必要箇所の整備は都度行った	
備を行う。		3
②ICT化の推進を行う	②進展がなかった。	

#### (5) その他

- ・地域交流については、従前から行ってきた月1回の「ふれあいランチ」の継続開催を行っており、地域の方に大変喜ばれる行事となっている。またバザー、 夏祭り等、クリスマス会も盛大に行うことが出来た。また、民政委員の会議へ 施設長が参加し、ライトハウスをアピールすることが出来た。
- ・事例検討会については、職員会議等の中で多くの時間を割いておこなっている。特性の多様化による対応方法について更なる研鑽が必要である。
- ・BCP計画については、リスクマネジメント委員会を中心に、全職員が理解するよう会議等での周知をはかった。またそれを踏まえ、都度内容の見直しも行った。
- ・さんさんの利用については、計画をたて、利用者の障害の程度に応じた利用 方法を検討しながら利用を行った。

目標	実 績	評価
①地域との交流事業の継続、新	①地域で参加できる行事には積極的	
規活動への参加を行う。	に参加した。	
②個別支援の具体的取組、報	②性教育は重点的に取り組んだが、	
告、事例検討会の月1回以上	問題事案も発生した。	3
の実施。		
③性教育の問題について職員全	③職員会議の中で、事例検討等を行	
体で取り組みの強化を行う。	った。	
④感染症、災害時の災害時の B	④ B C P の内容を再検討し、見直し	
CPの見直し、実践を行う。	を行った。	
⑤虐待、身体拘束(特別な理由	⑤虐待、身体拘束(止むを得ない場	
を除く)0運動。	合を除く)の事案はなかった。	
⑥「さんさん」の利用計画を作	⑥食育等を月1回程度計画し、「さん	
成し、実行する。	さん」を利用した。	

## 3 サービスの利用状況

- 生活介護・施設入所支援の利用率
  - ・ 入所者については、高齢化が進んでおり、その特性からも持病の悪化による通院や死亡するケースが出てきている。

#### 生活介護の利用率

(定員 40人)

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
開所日数	268 日	270 日	269 日
生活介護者	10,680 人	10,398 人	10,310 人
(延べ人数)			
利用率	99 • 6%	96.3%	95.7%

#### 施設入所支援の利用率

(定員 40人)

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
開所日数	365 日	366 日	365 日
入所者	14,518 人	14,142 人	14,104 人
(延べ人数)			
利用率	99.4%	96.6%	96.6%

#### 利用者月別入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	合計
人数	1	3	1	1	1	2	3	1	1	2	1	1	18
延数	11	20	3	8	31	44	60	13	3	22	18	31	264

## 4 苦情対応の状況

- (1) 苦情解決委員会開催日
- (ア) 2024年9月27日
- (イ) 2025年3月17日
- (2) 年間の苦情件数 (対応済みの件数)
- (ア) 4件(3件)
- (3) 主な苦情内容と対応状況

主な苦情の内容	対応状況
・利用者が、自宅に帰省した際に荒い言葉遣	・ご家族へ状況を説明(過去の記録等確
いをするようになった。	認、言葉遊びの延長であると思うが、状況
	確認する旨報告し納得された。
・2024 年 1 月に亡くなられた利用者のご家	・ご家族が医療関係者であり、病院対応等
族から、当時の対応状況についての確認があ	に納得がいかないようで係争も念頭に動
る。状況を説明、一旦理解されたが、その時	かれている。当施設に対しては協力要請
の病院の対応等にも不満があるとのことで、	であるが、当時の対応についても不満が
当施設へ現在も問い合わせがあっている状	ある様子である。当施設としては、当時の
況。	記録等も先方に開示している。
・利用者支援時に転倒事故があり、骨折。転	・ご家族に対し、謝罪。納得された。尚、
倒直後の職員の行動(ボディチェックをして	この件は市への報告、また全職員招集し
いないなど)に対し、苦情あり。	臨時職員会議を開くなど対応をおこなっ
	た。
・食事制限がある利用者に対し、施設が食事	・当施設ではそのようなことをしておら
を与えるため良くないと外部の方へ話され、	ず、説明し、納得された。(記録等により
外部の方から当施設への話を受けた。	確認)

## 5 主な行事の実施状況

月	主な行事
4月	
5月	家族会
6月	めぐみ幼稚園との交流会
7月	地域交流夏祭り
8月	
9月	
10 月	
11月	ふれあいバザー 熊本障害者芸術展出展
12月	クリスマス会 泉ヶ丘スポーツ大会参加
1月	
2月	
3月	

## 主な研修の実施状況

月	研修実施状況
4月	· 新任職員研修研修(施設内)
5 月	
6月	・障害者施設職員研修会(戸山)
	・障がいのある人の意思決定をするための実践研修会
7月	・衛生講話 ・虐待防止研修 ・九州地区知障関係施設研修大会(沖縄)
	・HACCP を用いた給食施設における衛生管理、大量調理のコツ
8月	・複雑なニーズを抱えた障害者のためのグッドウェイモデル入門研修
9月	・より良い職場づくり実践セミナー ・強度行動障害支援者養成研修
10 月	・災害時における給食施設の対応について ・同行援護従業者養成研修
	・看護研修会(知的、発達障害コース)
11月	・障害者虐待防止研修会・サビ管、児発管連絡協議会全体研修会
12 月	
1月	・良い職場づくり実践セミナー
2月	·養協給食担当者部会春季研修会 · 成年後見制度利用促進研修会
3 月	・育児・介護休業法の改正について

# 7 施設整備等

・特になし

### シオン園保育所

#### 1 部門の取組の総括

園の保育理念である「謙遜・献身・愛」に基づき、一人ひとりの子どもの育ちを大切に適切な環境を構築し心身ともに健やかな人間性の基礎を培うことができるよう職員一同取り組んでいった。

夏場には手足口病や腸管出血性大腸菌感染症、冬場にはインフルエンザ感染症や感染性胃腸炎が流行したため健康管理、消毒・換気等の感染症対策は徹底して行い保護者への周知も行い拡大防止に務めた。

経営面では、荒尾市も少子化が進んでおり0歳児が1月には23人に増えたが2024年度は年間通しても定員に満たない状況だった。出生数の減少をふまえて入所児の増加がみられないので荒尾市の承認を得て2025年4月より定員を150人から140人へ減らす。

新たな事業として荒尾市より放課後児童クラブの委託を受けた学童クラブ くるみの実は、定員も満たして順調な運営であった。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

- (1)事業の運営に関する実施状況と評価
- ○家庭的な愛着関係を築き規則正しい生活リズムや生活習慣の確立を促す育 児担当制保育や年齢の異なる友だちとの生活や遊びを通して学び共に育ち合 う異年齢児保育を実践していった。
- ○環境保育を実践していき主体的に遊び考えて活動できる子どもを育むように環境を整えた。また、人権擁護のためのチェックリストを用いて子どもたちの人権について考えたり、自分の保育を見つめ直す機会をもった。
- ○多忙や困難を抱える保護者に寄り添い声かけしていったり相談にのったり し、関係機関や療育機関につないで育児不安を解消するようにしていった。

目標	実 績	評価
① 学童クラブの開設。	① 2024年4月に開設した。定員も 安定している。	
② 保護者から、悩みや子どもの 特性について相談が受けやす い体制作りをする。	② 心理士や病院などにコンタクト が出来る体制が整ってきた。	3
③ 業務の効率化を図る。	<ul><li>③ ノンコンタクトタイムを利用して事務作業を行うようにし、業務の効率化が図れた。</li></ul>	

#### (2)組織の管理運営に関する実施状況と評価

- ○年度始めには園の理念や方針、事業計画などを全職員に示し共通理解したうえで保育を進めるようにした。
- $\bigcirc$ 0,1,2 歳児(未満児)・3,4,5 歳児(以上児)の話し合いは月 1 回のペースで話し合いや保育の進め方の確認をしていった。
- ○前年度の自己評価で自分なりの目標を設定し、方法や手順などを考えて自分のスキルアップを図った。園長との2度の面談で進み具合や悩みなどを話し与えられた役割を果たしていった。
- ○法人研修や3園保育所合同研修、県保協や市保協の研修、キャリアアップ研修などを受講し、自分の保育観を見つめ直したりコミュニケーション能力を育んでいった。

目標	実 績	評価
① 理念や方針を体現できる人材 育成を行う。	① 法人研修や姉妹園との研修に参加し、法人の理念や事業計画を共有した。	
② 協働的な組織づくりを行う。	② クラスの垣根を超えたチームワークづくりを目指し、月1回ペースで話し合いや保育の進め方を確認した。	4
③ 職員が自ら目標を設定し、キャリアアップを図れる体制にする。	③ キャリアアップ研修を進んで受講し専門性を高めたり自分の保育を振り返る機会を持つことが出来た。	
④ 年 10 日以上を取得する職員 の年休取得の割合を 60%以上 にする。	④ 年10日以上の年休取得率60%は 達成できた。	

#### (3) 経営に関する実施状況と評価

- ○園児数が定員には満たなかったが、園児数に足る職員の確保はできた。また、0歳児の入所が多く委託費や各種加算を得ることが出来た。荒尾市の出生数が減り入所児の確保が難しくなっているので2025年4月より150人から140人へ定員を減らす。
- ○学童クラブくるみの実を開設し、支援員の確保が難しく保育所から保育士が交代で児童の指導を行ったので人件費が抑えられた。また、委託料収入も得られた。
- ○光熱水費については夏場、感染症対策としてプール遊びや水遊びが出来なかったため抑えられた。また、電気代の削減として蛍光灯の LED 化を視野に入れて進めていく。

目標	実 績	評価
① 経費の節約と計画的な支出を	① 全職員に働きかけ節約を促し、計	
全職員に意識づけする。	画的な施設整備を行った。	
② こまめな消灯、節水、用紙の	② 夏場の感染症対策として水遊び	
節約を取り組む。	やプール遊びが出来ず抑えられ	4
	た。また、お便りをブログやホー	
	ムページに切り替えた。	
③ くるみの実の支援員の確保と	③ 学童クラブの職員の確保が出来	
委託費収入を確保する。	ず保育所職員が支援員を兼ねた	
	為人件費は抑えられた。委託費収	
	入も得られた。	

#### (4) 重要な施設整備や機械導入等に関する実施状況と評価

- ○外壁塗装の剝離の為、塗り替え工事・防水工事を行った。足場を組んでの工事で天候不順が続き予定より日数がかかった。
- ○2階ベランダや避難階段付近の樹木の伐採、枝打ちを行った。
- ○養護施設シオン園と小学校通学路歩道に設置してある看板を新設した。

目標	実 績	評価
① 外壁改修工事を行う。	① 外壁塗装の剝離のため塗り替え	
	工事・防水工事を行った。	
② 樹木の伐採を行う。	② 樹木の伐採や枝打ちを行った。	5
③ 看板の新設。	③ 敷地内に看板を新設した。	
④ エレベーターの点検を行い、	④ エレベーターの点検を行ったと	
安全性を確保する。	ころ不具合はみられなかった。	

#### 3 サービスの利用状況

#### (1)シオン園保育所

2024年度は1月には0歳児が23人になったが年間を通しても定員150人に満たない状況だった。荒尾市も少子化が進んでおり出生数が毎年減少しているので、当園だけでなく入所児が減少し荒尾市のほとんどの園が定員割れしている。今後も育休をぎりぎりまでとられ仕事に復帰される年度途中での入所を希望される家庭が増えてくると思われる。

園児在籍数 2024年度 (定員150名)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
													平均数
0 歳児	11	11	12	13	14	16	19	20	21	23	23	23	17
1 歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
2 歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
3 歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
4 歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
5 歳児	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
合 計	136	136	137	138	139	141	144	145	146	148	148	148	142
稼働率	90	90	91	92	92	94	96	96	97	98	98	98	94

#### (2) 学童クラブくるみの実

2024年4月から開設された学童クラブくるみの実は通常利用、長期利用合わ せると定員を満たしている。今年度は卒園児の入会が多かったが、保育所を転園 転入の兄や姉が入会することもあった。ただ、夏休みを過ぎた頃から 3 年生の 中には自宅での留守番の練習等の為退会する児童がでてきている。

月別利用者数の推移 2024年度 (定員35名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
利用者	35	31	29	36	36	29	28	27	35	34	26	34	380
数													
充足率	100	88	82	102	102	82	80	77	100	97	74	97	90

#### 4 苦情対応の状況

- (1) 苦情解決委員会開催日
- (ア) 2024年7月 3日
- (1) 2025年2月19日
- (2) 年間の苦情件数(対応済みの件数)
  - · 5件( 5件)

#### (3) 主な苦情内容と対応状況

#### 主な苦情の内容 対応状況 保護者の送迎時のマナーについて 連絡があった日に一斉メールでチャイル チャイルドシートに乗せず抱っこして運 ドシートの使用や抱っこしたまま運転し ないよう知らせた。また、保護者会からも 転している保護者がいて危険である。改善 されなければ、警察に通報すると市役所に 駐車場のマナーについての手紙を配布し 電話があった。 注意喚起を行った。 6月は保護者に保育参加をしてもらい一 保育参観について 未満児は発表会が何もなかったり、保育参 緒に遊んだり食事をしてもらった。2月 観の時にも、自分(親)から離れないため、 の保育参観では日頃の保育(体操や楽器 遊び、手遊び、表現遊びなど)を見てい 園での様子がわからない。 ただいた。 保育士の対応について 父親、担当保育士、主任保育士と面談を行 い、父親から両親ともに三交代の勤務な 母親が子どもの病院受診後、登園した際に 担当保育士から生活リズムを整える為に ので降園後の受診が難しいことを申し出 も可能であれば病院受診は降園後にして られた。また、特に園の方針でないことを ほしいと言われた。園の方針なのか、口調 伝え、口調については謝罪した。様々な勤

務の形態があることを共有し、日ごろの

対応として言葉使いに気をつける、他の 家庭と比べるような言動はしないなど確

認し合った。

#### 5 主な行事の実施状況

がきつかった、他の家庭と比べるような

口調をされたと父親から電話があった。

月	主な行事
4月	入園進級礼拝 イースター 誕生会 ファミリーデー
5月	こどもの日 創立記念日礼拝 母の日 誕生会 交通安全教室
6月	花の日礼拝 歯科検診 父の日 誕生会 健康診断
7月	七夕 サマーフェス 誕生会 サマーコンサート (3,4,5 歳児)
8月	誕生会 平和の祈り
9月	誕生会 敬老の日
10月	運動会(3,4,5 歳児) 子ども祝福式 誕生会 ふれあい動物園
11月	健康診断 誕生会 感謝祭 感謝訪問
12月	誕生会 5歳児クリスマス 園内クリスマス
1月	誕生会 保育参観・懇談会(0,1,2 歳児)
2月	節分 シオンフェスタ (3,4,5 歳児)
3月	ひなまつり 誕生会 卒園式

## 6 研修の実施状況

月	研修実施状況
4月	救命救急法研修
5 月	育児担当制研修 異年齢児保育研修
6月	キ保熊本地区春季保育者研修 3 園保育所合同研修
	<b>分務管理研修</b>
7月	慈愛園研修 九州保育三団体研究大会 女性部研修
	管理者研修 労務管理研修
8月	管理者研修 3 園保育所合同研修 園長等園づくり研修
	公正採用選考人権同和問題啓発推進員研修
9月	3,4,5 歳児研修 キ保熊本地区秋季保育者研修 虐待防止研修
	後期食育担当者研修 慈愛園研修
10 月	保育問題セミナー 福祉サービス苦情解決研修 労務研修
11月	0,1,2 歳児保育研修 保育実習指導者研修 発達障がい研修
	キ保熊本地区クリスマス 視察研修
12月	保護者支援研修 不適正な保育を考える研修
1月	キ保九州部会主任保育士研修 3 園保育所合同研修
	熊本県就学前人権・同和教育研修大会 慈愛園研修
2月	事故防止対策研修 感染症・嘔吐物処理研修
3 月	防火管理者研修 慈愛園ハラスメント研修

## 7 施設整備等

完成時期(月)	内 容	価 格
12月	外壁改修工事	¥ 2,400,000

### 愛光幼児園

#### 1 部門の取組の総括

園の保育理念である「謙遜・献身・愛」に基づき、一人ひとりの個性を大切に 適切な環境を構成し、心身共に健やかな人間性の基礎を培うことができるよう 取り組んだ。

運営面では、エプロン・おしぼりの定額利用サービスの導入を始めとする保育業務全般の効率化を進め、働きやすい職場環境づくりに努めた。

経営面では、4 月から定員充足率 1 0 2%で始まり、職員数の確保ができたことと 0歳児の入園が進んだことで年度を通して 1 0 0%以上を維持し、各種加算を得て安定した経営を行うことができた。

円滑なクラス運営の為には、責任を担うリーダー層の職員のコミュニケーション能力やマネジメント力、社会人としての基礎力を上げていく必要性を感じている。一朝一夕にはいかないが課題として取り組んでいく。またハラスメントの防止は重要だが、ハラスメントを意識するあまり必要な助言、指導が疎かにならないよう適切な人材育成に取り組んでいく。

#### 2 主な取組の実施状況と評価

- (1)事業の運営に関する実施状況と評価
- ○おしぼり・エプロンの定額利用サービスを導入し4月より運用を開始する。4月の利用は0,1,2歳児38名中12名(32%)でスタートし、3月は0,1歳児32名中19名の利用(60%)となった。(2歳児は途中から使用しなくなる為順次利用解除)。保護者の育児負担軽減、職員の業務効率化のどちらにもつながる有益な取り組みになっている。
- ○3歳未満児、以上児各リーダー保育士と主任、園長の4名で年4回のリーダー会議を実施し、更なる課題改善や業務効率化を目指す。会議の中で課題を洗い出し改善策をまとめ、できることから進めていく。行事についても都度協議し、対象者や構成、ねらいなどの確認や見直しを図った。リーダー会議でとりまとめた事項は職員会議で提案をし、意見を集約、共有した上で取り組む。
- ○常勤保育士の計画的なノンコンタクトタイムの確保を掲げ、勤務時間内に子どもから離れ各自の必要な保育業務を行うことができるようにした。計画通りにいかないことやその日の状況で急遽ノンコンタクトタイムに入ることもあったが、年度を通して1人8回ずつ確保することができた。

目標	実 績	評 価
① おしぼり・エプロンの定額	① 4月より導入開始。利用者数も順調に	
利用サービスの導入	増え、導入後の保護者アンケートでも	
	89%が取組を高評価。	
② 行事を含めた保育業務の	② 年4回のリーダー会議を新たに実施。	4
見直しと整理	前年度に比べ効率的にPDCAを回	
	しながら改善を進めることができた。	
③ 常勤保育士の計画的なノ	③ 計画的にいかないこともあったが	
ンコンタクトタイムの確	年度を通して8回ずつ確保すること	
保	ができ、職員の負担軽減につながっ	
	た。	

#### (2)組織の管理運営に関する実施状況と評価

- ○全職員年10日以上の年休取得80%を目指すとしていたが、10日以上付与されている職員のみで考えることとし、10日未満の職員も個別に年休取得の促進に努めた。該当者24人中20人は10日以上取得できた為83%となり、目標を達成した。
- ○経験年数や職責に応じて外部研修・法人研修ともに積極的に派遣し、専門知識 や情報のアップデートを図った。園長、主任を含む職員の県外派遣も行った。
- ○保育所3園の連携として、運動会の相互視察や行事や活動についての情報交換をしながら自園の振り返りと評価をした。
- ○神水教会、大江教会牧師による園内研修(聖書会)の他、様々な園内研修を通して職員全体のスキルアップや情報の共有化を図った。またAEDなどの実践的な研修やケース検討会、動画や資料を使った研修など園内研修の形式を工夫し、処遇改善のリーダーが主体となって研修を実施した。園内研修はここ数年同じ内容で実施してきたが、時期も含め見直しが必要な部分がある為、整理した上で次年度の計画につなげていく。
- ○非常勤、ベテラン、若手、中堅と階層別の意見交換会を年4回実施し、自身の課題や日常の保育業務の疑問など幅広く意見交換する機会を設けた。非常勤職員の意見交換会については要望に沿って今年度から新たに取り入れたものであり、よい振り返りができていた。

	目標	実績	評 価
1	10 日以上の年休取得 80%	① 目標は達成。10日以上付与されてい	
		る若手の正規職員の取得が進んだ。	
2	園内研修の充実と外部研	② 保育所 3 園の意見交換会を含めた園内	4
	修への参加(スキルアップ)	研修や、外部研修ともに積極的な派遣	
		と参加ができた。	
3	非常勤を含む自園の職員	③ 常勤に加え新たに非常勤職員の意見交	
	同士の意見交換会の実施	換会を実施した。	

#### (3)経営に関する実施状況と評価

- 〇4月から年度を通して定員充足率100%以上を維持する。(※詳細についてはサービスの利用状況に記載)
- ○光熱水費や消耗品のコスト削減を図り、消耗品は販売先の価格を比較しコストが安価な所から購入するよう努めた。光熱水費については前年度より増えていた。長期にわたり猛暑が続くなど気候の影響が考えられるが、引き続き 一人ひとりのコスト意識を高める必要がある。
- ○園舎照明(蛍光灯)のLED化工事を12月に実施するとともに、次年度からの歳出削減の一端となるよう基本料金の見直しも行った。
- ○園の情報発信強化の一環として 4 月からインスタグラムの運用を開始し、週に1回以上の投稿を目標にする。1 年間で 2 1 6 投稿、平均すると週 4 回の投稿となり目標を達成する。フォロワー数も一年間で 2 2 1 フォロワーまで増えた。実習生や入園先を探している方がインスタを見て来られることも増え、よい影響を及ぼしている。
- ○園案内のリニューアルを計画したが思うように進まず、3月にようやく完成 した。次年度からは新しい案内を配布する。

	目標		実 績	評	価
1	定員 90 名以上の園児の確	1	毎月定員 90 名以上の園児を確保する		
	保と維持		ことができた。		
2	LED化工事による電気	2	12月に工事行った為、今年度の歳出		
	代の削減		削減にはあまり影響しなかった。	3	3
3	SNSの活用による情報	3	4 月にインスタグラムを開設する。一		
	発信の強化		年間でフォロワー数も増加、外部の閲		
			覧者も増えている。		
4	園案内(パンフレット)のリ	4	年内の完成を目指していたが3月まで		
	ニューアルを行う		延びた為、次年度から配布予定。		

- (4)重要な施設整備や機械導入等に関する実施状況と評価
- ○園舎照明(蛍光灯)のLED化工事を12月に実施した。園内各所の照度が上がり、生活が快適になる。
- ○劣化、故障など対応が必要な箇所の整備を必要に応じて行った。

	目標		実 績	評	価
1	園舎照明のLED化工事 を実施する	1	計画通りに工事を実施することができ 園内各所が明るくなった。		
2	対応が必要な箇所の整備 を行う	2	耐用年数期限による1階系統のエアコン室外機の取替や、屋外電波時計の故障による取替など必要な整備を行う。	4	:

#### (5) その他

○校区の社会福祉協議会や子育てネットワーク会と連携をとりながら、コロナ 禍で縮小していた育児支援、高齢者支援などの地域交流を再開する。子育ての 集いや子育てサークル、地域のデイサービスを訪問したり、自園に年 2 回高 齢者を招いて園児とふれあう機会をもつなど、活発な交流活動を行うことが できた。

	目標		実 績	評	価
1	地域の高齢者との交流を 再開する	1	デイサービス訪問、校区高齢者とのつ どい、生き生きサロンなどで交流する 機会をもつことができた。	4	
2	地域の子育て世帯との交 流を積極的に図る。	2	子育ての集いや子育てサークルに職員 や園児が参加し、交流することができ た。		

#### 3 サービスの利用状況

○定員数を超える92名から始まり、各月の増減の差はあるが年間平均園児数や稼働率は、前年度より多い数値であった(前年度97.3人、108%)。年度後半に派遣を含む非常勤保育士2名が入職し、職員の確保ができたことで10月以降5名の0歳児の入所を進めることができた。

定員90名(月初の人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
0 歳児	3	2	4	5	6	10	10	13	15	15	15	15	9.4
1 歳児	17	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17.3
2 歳児	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17.9
3歳児	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17.8
4 歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19.0
5 歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19.0
合計	92	93	95	97	97	101	101	104	106	106	106	106	100.3
昨年比	+ 1	+ 2	+ 1	+ 2	+ 1	+4	+ 3	+4	+ 6	+ 5	+4	+ 4	+ 3
稼働率	102%	103%	106%	108%	108%	112%	112%	116%	118%	118%	118%	118%	112%

#### 4 苦情対応の状況

- (1)苦情解決委員会開催日
  - (ア) 6月26日 第三者委員 2名出席(対面)
  - (イ) 11月21日 第三者委員 2名出席(対面)
- (2) 年間の苦情件数(対応済みの件数)
  - (ア) 2 件(2件)
- (3) 主な苦情内容と対応状況

主な苦情の内容	対応状況
○園のホームページに匿名でメールあり。	○保護者にはすぐに注意喚起し、安全な
園の前を歩いて通勤しているが、送迎の車	送迎や駐車を促す。また差出人の方には
がものすごい勢いでバックで入庫しよう	保護者へ周知したことをメールで報告
として通行人を止めたり、轢こうとしてい	する。その後再度の返信や苦情はない。
るところを何度か見かけた。保護者の方へ	
くれぐれも歩行者優先で車庫入れしてい	
ただくよう周知をお願いしたい、など記載	
されていた。	

- ○朝から嘔吐を繰り返す園児の保護者に対してお迎え要請の連絡をする。来られた時に対応した保育者が服の上からビニールのエプロンや手袋、マスクを着用していたり、看護師が本児や母親と距離をとって話し、近づかないようにするあまり連絡帳をバックに投げるように入れた為、「ばい菌を扱うような対応をされた」と苦情の電話があった。
- ○直前にも嘔吐があり、感染防止対策としてエプロン等着用していたことを説明するとその点はすぐに納得される。看護師の言動については謝罪し、看護師本人からも後日謝罪。その言葉を受けて保護者も納得された。この件に関しては全職員に周知し、会議でも保護者対応時のあるべき姿勢や配慮すべき点などをすぐに話し合い、共有する。そのことについても全て保護者に報告する。

### 5 主な行事の実施状況

月	主な行事
4月	進級礼拝 イースター礼拝 クラス懇談会 内科健診
	誕生会と入園お祝い会(毎月) 避難訓練(毎月)
	ロアッソサッカー教室始まり(4,5歳児・年10回)
5月	プラネタリウム鑑賞(5歳児) 2,4歳児保育参観
	幼年消防クラブ編成式(4,5歳児)
	音楽リズム教室始まり(3歳以上児・年10回)
6月	花の日礼拝・訪問 1,3,5歳児保育参観 プール開き 歯科検診
7月	七夕の集い(校区高齢者との集い) 愛光まつり・同窓会
8月	水のお話会(5歳児)
9月	
10月	運動会(3歳以上児) 内科健診
11月	芋ほり遠足(3歳以上児) ひかり組オータムチャレンジ(5歳児) 幼児
	祝福式 収穫感謝礼拝・訪問 デイサービスぽぽろ訪問(4歳児)
12 月	愛光幼児園クリスマス 交通安全教室(3歳以上児)
	子育てサークル訪問(5歳児)
1月	新年礼拝 クラスふれあい発表会(3歳未満児)
2 月	創立記念礼拝 クラスふれあい発表会(3歳以上児)
	神水教会子ども礼拝(5歳児) 幼年消防クラブ修了式(4,5歳児)
3月	卒園記念遠足(5歳児) お別れパーティー
	生き生きサロン(4,5歳児) 保育証書授与式(5歳児)

## 6 研修の実施状況

月	研修実施状況
4月	外部:慈愛園新任研修会
	園内:安全な生活、SIDS 研修会 幼児保育研修会 聖書会(毎月)
5 月	外部:キリスト教保育連盟園長設置者研修会 熊本市給食・食育説明会 中
	央ブロック主任研修会 熊本市保育園連盟保育研究大会
	園内:秘密保持(個人情報保護)研修会 障がい児ケース研究
	AED講習会
6月	外部:メイト運動会実技研修会 キリスト教保育連盟熊本地区
	春季研修会 熊本市食品衛生研修会 熊本市保育園連盟女性部視
	察研修会 熊本市保育所等職員合同研修会 こどものとも社保育 環境講座
	園内:水あそび事故防止研修会 事故防止委員会 非常勤職員意見交
	換会 第1回慈愛園保育所3園意見交換会
7月	外部:熊本市保育実践研修会 慈愛園全体研修会 九州保育3団体研究大
	会 チャイルド幼児教育研修会 キリスト教保育連盟夏期講習会
	夏の芸術学校研修会 上田事務所労務管理研修会
	園内:食物アレルギー・食中毒研修会 給食室衛生管理研修会
8月	外部: HANA セミナー ワンダーサマースクール
	尚絅大学公開講座サマーセミナー 慈愛園事務担当職員研修会
	熊本市食物アレルギー研修会
	園内:若手保育士対象座談会 障がい児ケース研究 第2回慈愛園保育所3園意見交換会
9月	外部:こひつじ文庫絵本セミナー 全国私立保育連盟青年会議 キリスト
) /J	教保育連盟熊本地区秋季研修会 熊本市応急手当講習会 上田事務
	所労務管理研修会 熊本市発達コーディネーター応用講座 慈愛
	園よりよい職場づくり実践セミナー
	園内:乳児保育研修会 障がい児保育委員会 事故防止委員会
	障がい児ケース研究
10 月	外部:スマートエディケーションセミナー 熊本市栄養士調理師合同研修
	サンライフ熊本経営者セミナー 熊本市保育園連盟感覚統合研修会
	熊本市看護師等研修会
	園内:中堅・ベテラン職員対象座談会
11月	外部:社会福祉協議会会計実務研修会 熊本県小学校訪問等研修会 熊本
	市食中毒予防講習会 チャイルド柴田愛子保育セミナー 子どもの
	とも社絵本講座 東部中央ブロック合同研修会 県市合同女性部研
	修会
	園内:離乳食研修会 障がい児ケース研究

12 月	外部:熊本市保護者支援研修会 熊本市乳児保育研修会 熊本市食育実践
	研修会熊本県子育て支援員研修会
	園内:事故防止委員会 障がい児ケース検討会 障がい児ケース研究
1月	外部:キリスト教保育連盟九州部会主任研修会 熊本市幼保中連携の日
	碩台幼稚園公開保育 キリスト教保育連盟執筆者の会 慈愛園より
	よい職場づくり実践セミナー
	園内:第3回慈愛園保育所3園意見交換会 虐待防止委員会
2月	外部:熊本県紙芝居研修会 食育ネットワーク中央区エリア研修
	会 熊本市発達コーディネータースキルアップ研修会 中央ブロッ
	クアンガーマネジメント研修会 日本保育協会女性部中央研修会
	園内:嘔吐処理研修会
3月	外部:キリスト教保育連盟保育セミナー 慈愛園ハラスメント研修会
	園内:事故防止委員会 子育て支援研修会

## 7 施設整備等

完成時期 (月)	内 容	価 格
		4,181,100円
12月	園舎照明 L E D化工事	(省エネルギー機器導入推進
		事業から 1,000,000 円補助)

### ひかり幼児園

#### |1 部門の取組の総括

新任職員を迎えたこともあり、経験年数が浅い職員に対しての保育や働き方などには、サポート体制を作り配慮してきたつもりだったが、年度途中に退職者が出たことは残念だった。保育のサポートは主任保育士が行い、休暇や研修参加の為、ローテーション勤務は園長が入ることもあり、人員不足が一時保育の受け入れ減となっている。適切なかかわりや保育の質と、よりよい職場環境づくりについては慈愛園の研修や園内研修を取り入れて、意識を高めていった。

業務省略やコスト削減については、漠然としており具体的なイメージがついていない状態。具体的にどのように行動に移すかを明確にしていくとよいと感じている。

#### |2 主な取組の実施状況と評価

- (1)事業の運営に関する実施状況と評価
- ●新しく定められた保育士基準に従い、保育を必要とする乳幼児を受け入れた。
- ●業務の効率化を進めた。

目標	実 績	評価
① 職員確保の具体的方策を模索しながら園児を受け入れ、職員が安心して休暇を取ったり、研修に出席する体制。	① 新任保育士を3名迎えたが、心身の体調を理由に2名の保育士が年度途中で退職。その後の保育士の確保もできなかった。休暇や研修を優先したため、園長・主任が保育やローテーション勤務をカバーした。また、期限のある業務に対して、計画的に業務遂行ができない職員がいる。計画的に遂行する方法の指導が必要であった。	2
② 園児(特に配慮を必要とする園児や家庭)のよりよい育ちのための学びや関係機関と定期的な連携(ケース会議)ができる状態。 ③ ICT 化補助を活用した事務処理	<ul><li>② 要保護世帯については連携機関との情の交換ができた。</li><li>③ 登降園システム導入準備中。</li></ul>	
の効率化を図れる体制。	<u> </u>	

#### (2)組織の管理運営に関する実施状況と評価

- ●働きやすい職場づくりを進める。
- ●職員教育を充実させる。

目標	実 績	評価
① 就職後3年以内の離職者を0に	① 就職後3年以内の離職者2名。	
する。 ② 全職員が働きやすさと働き甲斐 の両方を感じる状態。	② 職員間の関係性は良好になったように 感じるが、まだトップダウンな体質で ある。	2

#### (3)経営に関する実施状況と評価

- ●職員数に合わせた入所児童、一時預かり利用者を確保する。
- ●歳出構造を見直す。
- ●定員減に連動した単価増における基礎収入を増やす方法を検討する。

	目標		実 績	評価
1	年間平均稼働率 90%以上確保す	1	年間平均稼働率 89.21%。	
2	る。 年間光熱水費や消耗品の使用を 前年度比1割以上削減する。	2	年間光熱水費は 14%増。価格高騰が影響。 消耗品(事業費) 3%増 (事務費) 30%減	2
3	近隣園の入所状況や地域の出生率などの実態を把握し、定員変更した場合の試算を上半期までに行う。	3	2025 年より定員 110 名→100 名に変更 することにより、年間 200 万円から 300 万円の収入増と試算。	

### (4)重要な施設整備や機械導入等に関する実施状況と評価

●環境改善や安全性向上などのために優先順位をつけながら設備を行う。

目標	実 績	評価
①見守りカメラを導入。	①見守りカメラ導入した。	
②Wi-Fi 環境を整える。	②Wi-Fi 環境は整えることが出来なかった	
	が、2025 年度には導入予定。	3
③登降園システムの導入を上半期ま	③登降園システム導入は出来ていない。(準	
でに行う。	備中)	

### 3 サービスの利用状況

(月初めの人数) (定員 110 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
													平均数
0 歳児	4	5	5	8	9	10	10	10	10	10	10	10	8.4
1歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17.0
2 歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18.0
3 歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17.0
4 歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19.0
5 歳児	18	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18.75
合計	93	94	94	98	99	100	100	100	100	100	100	100	98.16
昨年比	+3	+4	+1	+5	+4	+5	+3	+3	+2	+2	+2	+2	
稼働率	84.5	85.4	85.4	89.0	90.0	90.9	90.9	90.9	90.9	90.9	90.9	90.9	89.21

### (一時保育事業 2024年度 利用者延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月
													平均数
延べ	43	48	47	45	18	33	34	33	25	33	30	28	34.75
人数													
昨年	+41	+36	+37	+29	-24	-41	-41	-42	-41	-31	-58	-78	
比													

## 4 苦情対応の状況

- (1) 苦情解決委員会開催日
  - ●2025年3月5日
- (2)年間の苦情件数 (対応済みの件数)
  - 2 件 (2件)
  - (3)主な苦情内容と対応状況

主な苦情	対応状況
クリスマスのお祝いに配る手作りのクリスマ	代替の食材の情報提供もしてくださったので、
スケーキ。卵アレルギー対応のケーキをもら	話をよく聞き、今後の参考にさせていただくこ
われた方が、「美味しくなかったので、申し訳	とにした。
ないけど破棄しました。」と言われた。	
子どもを急がせる保育者の態度や口調が厳し	主任が保育室に入り、子どもとの関わり方や接
く、子どもが怖がっているという保護者から	し方に指導を行い、園内研修を行い、全職員で
の指摘。	自分の関わり方について考えた。

## 5 主な行事の実施状況

4月	入園進級礼拝(8日)					
5月	内科健診(15日) 交通安全教室(21日)幼年消防クラブ結成式(23日)					
	歯科健康教室(28 日)					
6月	花の日礼拝(3日) 歯科健診(7日)					
7月	ふじ・さくら組個人懇談 WEEK(1~5日)					
	プール開きの礼拝(22 日)					
8月	夏の異年齢交流の日(8・9日)					
9月	お泊り保育(20・21 日)					
10 月	内科健診(16日) 運動会(19日) 運動会ごっこの日(30・31日)					
11月	収穫感謝礼拝・幼児祝福式(5日)・訪問(6日)					
	秋の異年齢児交流の日(14・15日) 年長児竹馬参観(20日)					
	ゆり組個人懇談 WEEK(18~25 日) すみれ組個人懇談 WEEK(22~28 日)					
12月	クリスマス(14日) 山の上団地いきいきサロン(20日)					
	みんなでクリスマスパーティー (24 日)					
1月	だご汁パーティー(14日)					
2月	創立記念礼拝(7日) 大江小学校交流会(14日) 発表会(15日)					
	神水教会・パウラス記念館訪問(27日)					
3月	幼年消防クラブ修了式(5日)お楽しみ遠足(8日)					

ありがとうの会 (14 日) 内科健診 (16 日) 歯科健診 (14 日) ふじ組ロアッソサッカー教室体験 (19 日) 保育証書授与式 (22 日)

### 6 研修の実施状況

### 園内研修

	対象	内容				
3月26日	新任職員	新任研修				
4月9日	全職員	聖書会(*参加者以外には文書回覧。以下聖書会につい				
		ては同様)				
4月24日	全職員	キリスト教保育指針について				
5月29日	全職員	聖書会				
6月11日	全職員	聖書会				
6月13日	全職員	救急救命・AED 講習 窒息時の対応				
7月9日	全職員	聖書会				
7月~2月	全職員	オンライン園内研修不適切な関わりをなくす				
		(7~2月の配信期間内に自分の空き時間で受講)				
8月31日	園長	慈愛園保育所 3 園意見交換会				
	中堅職員					
9月10日	全職員	聖書会				
10月8日	全職員	聖書会				
11月12日	全職員	聖書会				
11月18日	新任職員	クリスマスについて				
11月18日	新任職員	感染症について・感染予防と処理方法				
12月17~19日	全職員	よりよい職場環境について				
1月14日	全職員	聖書会				
2月12日	全職員	聖書会				
3月11日	全職員	聖書会				

### 対外的研修

	主催	受講者	内容				
4月1・6・ 法人		保育士	新任職員研修				
7 日							
5月8~14 市連		園長・主任・事	保育研究大会·講演会連動事前映画配信 (WEI				
日		務					
5月16日 市		園長・栄養士	給食・食育説明会				
			(食事における事故防止研修を含む WEB)				
5月21日 市 園長		園長	熊本市発達支援コーディネーター養成園長研修				

5月21日	中央 B	主任	主任保育士・主幹保育教諭及び代表者会議(主任		
		<b>-</b> 1-11-	研修)		
5月25日 市連		園長・ 主任・	保育研究大会 保育推進研修会(こども家庭庁)		
		事務			
5月30日	中央 B	保育士	中央ブロック保育士研修会		
5月31日	市	保育士	乳児保育研修会		
6月4日		事務	算出基礎届事務講習会		
6月11日	市連	保育士	保育を考える研修会		
6月20日	市	保育士・栄養	保健衛生研修		
		士・			
		調理師・看護			
		師			
6月28日	市	栄養士	子どもの食育推進ネットワーク中央区エリア研		
			修会		
6月29日	法人	園長・保育士	慈愛園保育所3園意見交換会		
7月4日	市連	園長・保育士	新任職員研修会		
7月8日	法人	園長・保育士	古市賢一様講演会		
7月8日	社協	事務	保育事業所管理者セミナー		
8月5日	法人	事務	社会福祉法人慈愛園第一回事務担当職員研修		
8月9日	市	保育士	自己評価研修会		
8月20日	市	保育士	危機管理研修		
8月25日	るうてる法	園長	るうてる法人会連合オンライン研修会		
	連				
8月28日	市	保育士・栄養	食物アレルギー研修会		
		士			
9月7日	キ保	園長 保育士	秋季保育者研修会		
9月13日	市連	保育士	リーダー保育士研修会		
9月19日	市連	園長・事務	経営者セミナー		
9月24日	中央 B	主任	主任・主幹及び代表者保育士視察研修		
9月27日	法人	保育士	慈愛園職員研修よりよい職場実践セミナー		
10月8日	中央 B	栄養士	給食部会研修会		
10月31日	中央 B	保育士	中央ブロック研修会		
11月1日	食品衛生協	栄養士	ノロウィルス食中毒等予防講習会		
15 日	会				
11月10日		全職員	津田塾大学同窓会助成金事業公開講演会		
11月20日	経営者協議		社会貢献事業生計困難者レスキュー事業 CSW		
	県社協		初任者研修会		
12月5日	市連	栄養士	食育実践研修会		
12月2日	キ保	園長 保育士	クリスマス合同礼拝		
12月3日	市	保育士	保護者支援研修会		

12月4日	市	保育士	乳児保育研修会
12月5日	市	保育士	熊本市保育所等職員合同研修会障がい児保育研
			修会
12月5日	県就学前教	事務	熊本県教育・保育 ICT 研修会
	育・保育 ICT		
	協議		
12月9日	市連	保育士	熊本市保育園連盟障がい児研修会
1月11日	法人	園長・保育士	慈愛園保育所 3 園意見交換会
1月17·18	キ保	主任	九州部会主任研修会
日			
1月24日	法人	保育士	よりよい職場づくりセミナー
2月7日	市連	保育士	女性部研修会
2月10日	市	栄養士	熊本市こどもの食育推進ネットワーク全体研修
			会
2月14日	市	栄養士	熊本市こどもの食育推進ネットワーク地域研修
			会
2月18日	市	保育士	発達支援コーディネーター養成スキルアップ講
			座
2月18日	中央 B	保育士	中央ブロックアンガーマネージメント研修
2月21日	協会けんぽ	事務	健康保険委員・年金委員実務研修会
	日本年金機		
	構		
3月21日	法人	保育者	慈愛園職員ハラスメント研修

市連:熊本市保育園連盟 中央 B:中央ブロック キ保:キリスト教保育連盟 ※この他、キャリアアップ研修に 1人(3分野)2人(1分野)が受講した。(オンライン)

## 7 施設整備等

完成時期(月)	内 容	価 格
3月	見守りカメラ設置	1,254,044 円